

平成 31 年 3 月 29 日
中部地方整備局平成31年度
中部地方整備局関係予算の概要

平成 31 年度中部地方整備局関係予算の配分が決定しました。
なお、本件について、ブリーフィングを行います。

1. 添付資料

平成 31 年度中部地方整備局関係予算の概要
なお中部地方整備局HPにも掲載されております。

<http://www.cbr.mlit.go.jp/guidance/yosan/h31.htm>

2. ブリーフィング

日時:平成 31 年 3 月 29 日(金) 15:00~

場所:中部地方整備局 3 階大会議室

名古屋市中区三の丸 2-5-1 名古屋合同庁舎第 2 号館

3. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、
静岡県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、
飯田市記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ、伊那市記者クラブ、
塩尻桔梗ヶ原記者クラブ、木曾合同庁舎記者室

4. 問合せ先

国土交通省中部地方整備局

●ブリーフィングについて

広報広聴対策官 望月 雅彦 電話 052-953-8110

●中部地方整備局関係予算の概要について

< 総括 >	企画課長	鈴木 高	電話	052-953-8127
	会計課長	佐々木 源	電話	052-953-8136
< 公園関係 >	都市整備課長	森山 幸司	電話	052-953-8573
< 住宅関係 >	住宅整備課長	畑 裕幸	電話	052-953-8574
< 河川関係 >	河川計画課長	池原 貴一	電話	052-953-8148
< 道路関係 >	道路計画課長	大谷 江二	電話	052-953-8168
< 港湾関係 >	港湾計画課長	東野 隆之	電話	052-209-6321
< 海岸関係 >	河川計画課長	池原 貴一	電話	052-953-8148
	港湾計画課長	東野 隆之	電話	052-209-6321
< 官庁営繕関係 >	計画課長	野崎 教之	電話	052-953-8185

平成31年度 中部地方整備局関係予算の概要



平成31年3月

国土交通省中部地方整備局

平成31年度 中部地方整備局関係予算の概要

目 次

1. 平成31年度中部地方整備局関係予算の基本方針 . . . P. 1
2. 平成31年度中部地方整備局関係予算の配分額 . . . P. 4
3. 実施事例
 - 3-1. 実施事例（位置図） . . . P. 5
 - 3-2. 整備事例（個 表） . . . P. 7
 - 3-3. 施策事例（個 表） . . . P. 47
4. 平成31年度の道路調査の見通しについて . . . P. 49
5. 県別の整備箇所事例一覧 . . . P. 50

1. 平成31年度中部地方整備局関係予算の基本方針

＜中部の目指すべき方向＞

中部圏は、日本経済を牽引する「ものづくり」産業が集積する地域であり、文化・歴史・観光面でもポテンシャルが高い地域です。この中部圏の更なる発展に向け、信頼性の高い道路ネットワークや豊かで住みやすい地域づくりなどが求められています。

一方、切迫する南海トラフ巨大地震や近年頻発する風水害等への対応が急務であることから、施設の耐震化や総合的な治水対策、津波・高潮対策なども重要です。

中部地方整備局においては、中部圏の社会資本整備を重点的・効果的かつ効率的に推進するため、概ね5ヵ年の「中部ブロックにおける社会資本整備重点計画」を踏まえ、以下の4つの基本戦略を展開していきます。

なお、こうしたハード整備にソフト施策を一体化させ、ストック効果の最大化を図るなど、生産性の一層の向上に取り組めます。

【戦略1】ものづくり中枢圏としての更なる成長を支える国土基盤の強化

■ 東海環状自動車道において、関広見IC～高富IC（仮称）間（延長9.0km）、大野・神戸IC（仮称）～大垣西IC間（延長7.6km）を2019年度開通します。さらに、現下の低金利状況を活かし、財政投融資を活用した整備加速による生産性の向上を行います。

■ 由比地区においては、豪雨や南海トラフ地震の発生等に伴う地すべりにより、幹線交通が分断され人命救助や経済活動に甚大な影響を及ぼすことが想定されるため、地すべり対策を進めます。

■ ものづくり産業を支えるため、名古屋港金城ふ頭地区および飛島ふ頭地区において、岸壁整備を進め、物流機能を強化します。



東海環状自動車道 大野・神戸 IC（仮称）



由比地区地すべり対策事業



名古屋港 岸壁整備箇所

【戦略2】戦略的なインフラメンテナンスの推進

■ 定期点検結果を踏まえ、道路の老朽化対策を推進しメンテナンスのセカンドステージを着実に実施します。また、港湾においては、将来にわたり港湾施設として機能を発揮できるように岸壁等の老朽化対策を進めます。



橋梁の点検状況

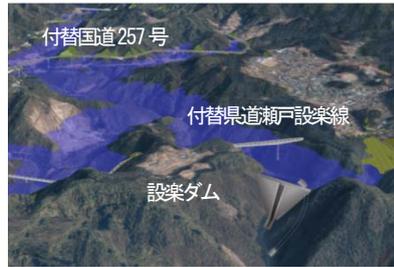


上部工の劣化状況

【戦略3】南海トラフ地震や頻繁・激甚化する自然災害などに備えた安全・安心の確保

■ **ダム再生のモデルケースとなる新丸山ダム**

では、早期の本体工事着手に向けて引き続き**転流工**を整備するとともに、**付替道路工事**などを進めます。



設楽ダム建設事業（イメージ図）



新丸山ダム建設事業（イメージ図）

■ **治水安全度の向上及び安定的な水の供給**に向け、**設楽ダム**では、**付替道路工事**などを進めるとともに、**本体工事（基礎掘削）**に着手します。

■ **天竜川 中流 地区**では、近年の豪雨増加傾向や南海トラフ地震の発生懸念により地すべり発生リスクが高まっているため、**地すべり対策事業**に新規着手します。



天竜川中流地区地すべり対策事業

■ **道路の多重性・代替性の確保**として、**三遠南信自動車道の天龍峡IC**～**龍江IC**間(延長4.0km)を2019(H31)年度開通します。**水窪C(仮称)**～**佐久間川合IC**間の延長14.4kmの**水窪佐久間道路**を新たに事業化します。国道42号において、**紀宝熊野道路**及び**新宮道路**(和歌山県内事業)の事業化により、**紀伊半島**を一周する道路が全て事業化となります。また、防災を目的とした**無電柱化**として、**国道1号静岡岡吉田地区**などの**電線共同溝事業**を進めます。



三遠南信自動車道 天龍峡大橋

■ **津波浸水リスクの高いゼロメートル地帯**における**木曾三川及び庄内川の河口部**においては引き続き**河川堤防の耐震対策**を進めます。

■ **総合的な津波・高潮対策**として、**駿河海岸**では「**粘り強い海岸堤防**」の整備、**津松阪港海岸**では**既設堤防の老朽化対策及び耐震対策**を進めます。



津松阪港海岸保全施設整備事業



木曾川津波対策耐震事業

【戦略4】住みやすい中部地域の形成と自然と共生した国土形成

■ **自然豊かな河川区間を活かした水辺整備**とまちづくりが連携して、賑わいのある水辺空間の創出を図るため、**愛西市愛西地区水辺整備(木曾川)**に新規着手します。



観光船運航ルート拡充

■ **交通安全対策**としては、**国道1号富士西地区**などの**事故対策**、**国道156号為真地区**などの**歩道整備**、**国道42号御浜紀宝地区**などの**自転車通行空間整備**などを推進します。



国道42号 御浜紀宝地区 自転車通行空間整備事業

<平成31年度予算の基本方針>

(全体方針)

- 平成31年度国土交通省関係予算については、近年相次ぐ大規模自然災害や巨大地震等に備えるための防災・減災対策や、戦略的なインフラ老朽化対策に取り組むとともに、少子高齢化の制約を克服し、地域においても成長と経済の好循環を実感できるようにするため、「国民の安全・安心の確保」、「力強く持続的な経済成長の実現」及び「豊かな暮らしの礎となる地域づくり」などに重点化するための経費並びに公共工事の施工時期の平準化等のための国庫債務負担行為を計上したところです。
- 今後の社会資本整備に当たっては、既存施設の計画的な維持管理・更新を図りながら、ストック効果を重視した公共投資を推進することにより、国民の安全・安心や豊かな暮らしを確保するとともに、これまでの常識を超えて頻発・激甚化する自然災害に対応し、防災・減災、国土強靱化のための集中的な追加投資を行うこととしています。
- また、中長期的な担い手の確保・育成に向けて、計画的な発注の実施による労働環境の改善、新技術導入やICT等の活用によるi-constructionの推進、適正な工期設定等による週休2日の実現等の働き方改革に取り組みます。
- 以上のような点を踏まえ、一般公共事業等予算の配分に当たっては、地域の実情や要望、社会資本のストック効果等を勘案し配分を行います。

<中部地方整備局関係予算の配分額>

配分事業費 **8,840億円**

内 訳

〔 歳出 :	直轄	3,346億円	〕
	補助等	5,493億円	

国庫債務負担行為（ゼロ国債） **72億円**

(注) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

2. 平成31年度中部地方整備局関係予算の配分額

(1) 事業別配分額【直轄】

(単位:百万円)

区 分	31年度							30年度		
	本省配分	防災・減災、国土強靱化のための緊急対策	整備局配分(一括配分)	防災・減災、国土強靱化のための緊急対策	計	防災・減災、国土強靱化のための緊急対策	国庫債務負担行為(ゼロ国債)	本省配分	整備局配分(一括配分)	計
治 水	73,811	18,005	18,871	1,634	92,682	19,639	3,961	45,303	16,805	62,107
海 岸	4,824	1,270	0	0	4,824	1,270	140	3,372	0	3,372
道 路	123,181	5,099	81,917	19,682	205,098	24,781	2,441	128,740	63,221	191,961
港 湾	27,188	7,509	0	0	27,188	7,509	600	16,242	0	16,242
都市水環境整備	522	0	889	0	1,411	0	60	691	864	1,554
国営公園等	2,054	0	0	0	2,054	0	0	2,010	0	2,010
官庁営繕	800	0	566	0	1,366	0	42	400	277	677
合 計	232,380	31,883	102,243	21,316	334,623	53,199	7,244	196,757	81,166	277,923

(2) 事業別配分額【補助等】

(単位:百万円)

区 分	31年度							30年度		
	本省配分	防災・減災、国土強靱化のための緊急対策	整備局配分(一括配分)	防災・減災、国土強靱化のための緊急対策	計	防災・減災、国土強靱化のための緊急対策	本省配分	整備局配分(一括配分)	計	
治 水	18,990	5,356	0	0	18,990	5,356	5,712	0	5,712	
海 岸	450	0	0	0	450	0	0	0	0	
道 路	30,560	0	0	0	30,560	0	13,844	0	13,844	
港 湾	1,956	490	0	0	1,956	490	2,638	0	2,638	
空港整備	0	0	0	0	0	0	62	0	62	
住宅対策	10,162	0	6,552	50	16,714	50	4,980	12,555	17,535	
市街地整備	20,074	0	0	0	20,074	0	4,192	0	4,192	
都市水環境整備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
下水道	9,501	0	703	0	10,204	0	0	0	0	
都市公園等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小 計	91,693	5,846	7,255	50	98,948	5,896	31,428	12,555	43,983	
社会資本整備総合交付金	204,216	3,021	0	0	204,216	3,021	213,086	0	213,086	
防災・安全交付金	246,170	47,231	0	0	246,170	47,231	210,284	0	210,284	
合 計	542,079	56,098	7,255	50	549,334	56,147	454,798	12,555	467,353	

(3) 補助事業等の県別配分額

(単位:百万円)

県	31年度							30年度		
	補助	防災・減災、国土強靱化のための緊急対策	交付金	防災・減災、国土強靱化のための緊急対策	計	防災・減災、国土強靱化のための緊急対策	補助	交付金	計	
岐阜県	10,541	140	71,018	7,937	81,559	8,077	8,546	63,400	71,946	
静岡県	23,105	1,052	119,538	11,918	142,643	12,969	16,304	111,417	127,721	
愛知県	60,106	4,473	190,727	17,698	250,833	22,171	14,614	187,045	201,659	
三重県	5,196	231	69,104	12,698	74,299	12,929	4,520	61,507	66,028	
合 計	98,948	5,896	450,386	50,252	549,334	56,147	43,983	423,370	467,353	

(注1)数字は、事業費ベースです。

(注2)国庫債務負担行為(ゼロ国債)は、本省配分と一括配分の合計であります。

(注3)計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

(注4)本省が全国的な観点から事業執行の判断を要するものは本省配分、中央省庁等改革基本法に基づき地方支分部局に配分権限を委任したものを一括配分としています。

(注5)当資料の次ページ以降に記載している完成予定、開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合があります。

3. 実施事例(位置図)

河 河川関係	道 道路関係
港 港湾関係	海 海岸関係
公 公園関係	営 官庁営繕関係

道 ぐじょう 郡上大橋架替(岐3)
2019新規事業化

河 しんまるやま 新丸山ダム建設事業(岐2)

道 どうかい 東海環状自動車道(岐3, 三3)
2019一部開通予定 2024一部開通見込み(用地取得等が順調な場合)

河 きそがわ 木曾川上流河川改修事業(岐1)
[長良川・幡長地区] 2019完成予定

河 きそがわ 木曾川総合水系環境整備事業(愛1)
[愛西市・愛西地区] 2019新規事業化

公 きそさんせん 国営木曾三川公園(国営公園整備事業)
(岐4 ※岐阜・愛知・三重を記載)

道 きんき いせ 近畿自動車道伊勢線
名古屋環状2号線
(名古屋西～飛島)(愛3) 2020全線開通予定

河 きそがわ 木曾川下流河川改修事業(三1)
[木曾川・鎌ヶ地地区]

海 つまつさか 津松阪港海岸
直轄海岸保全施設
整備事業(三4)

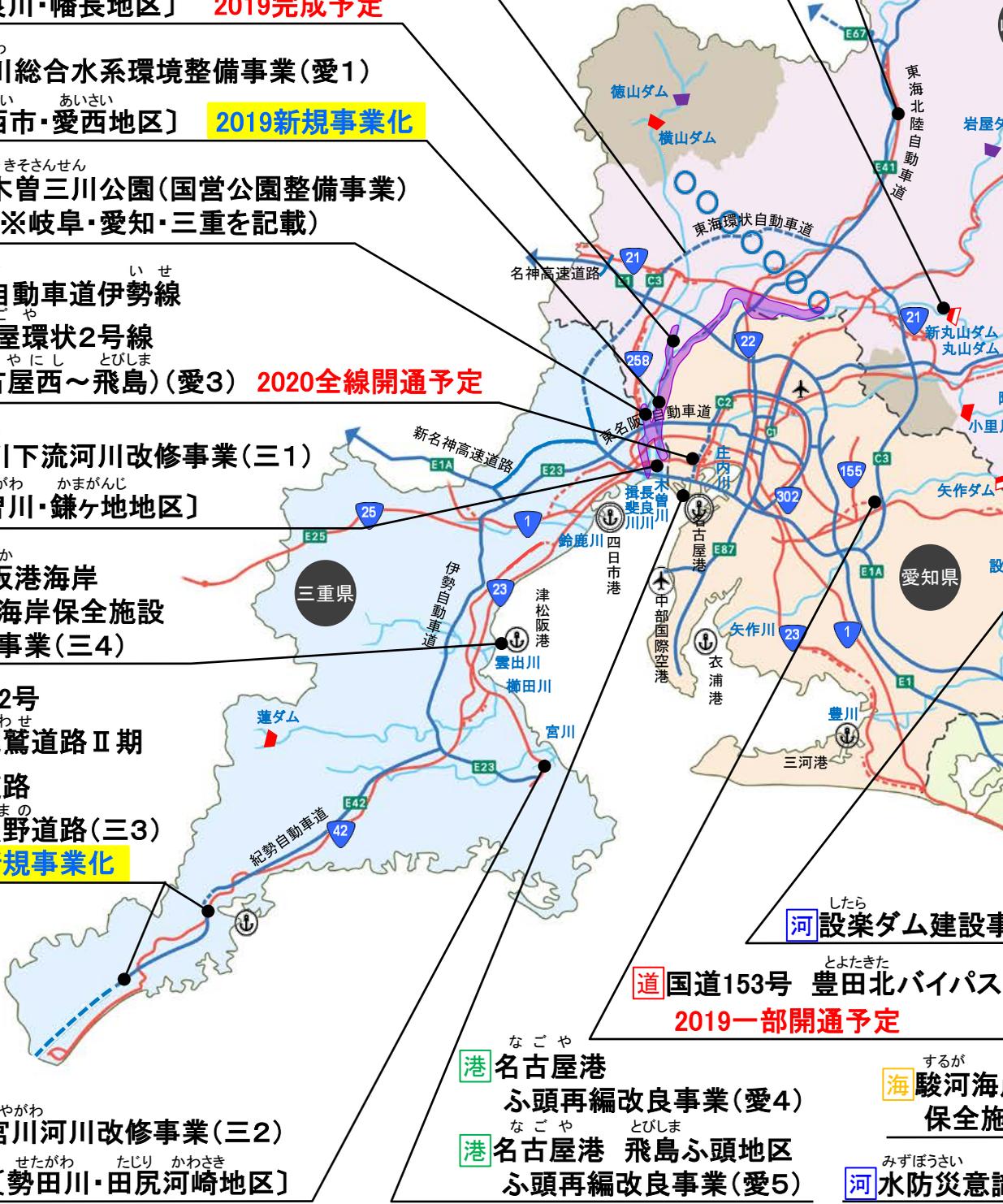
道 国道42号
くまのおわせ 熊野尾鷲道路Ⅱ期
くまの 熊野道路
きほうくまの 紀宝熊野道路(三3)
2019新規事業化

河 したら 設楽ダム建設事業
道 国道153号 豊田北バイパス
2019一部開通予定

河 みやがわ 宮川河川改修事業(三2)
せたがわ たじり かわさき [勢田川・田尻河崎地区]

港 なごや 名古屋港
ふ頭再編改良事業(愛4)
港 なごや とびしま 名古屋港 飛島ふ頭地区
ふ頭再編改良事業(愛5)

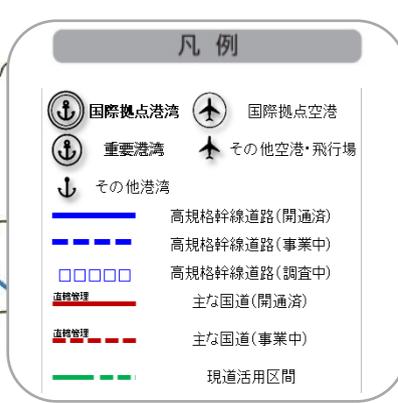
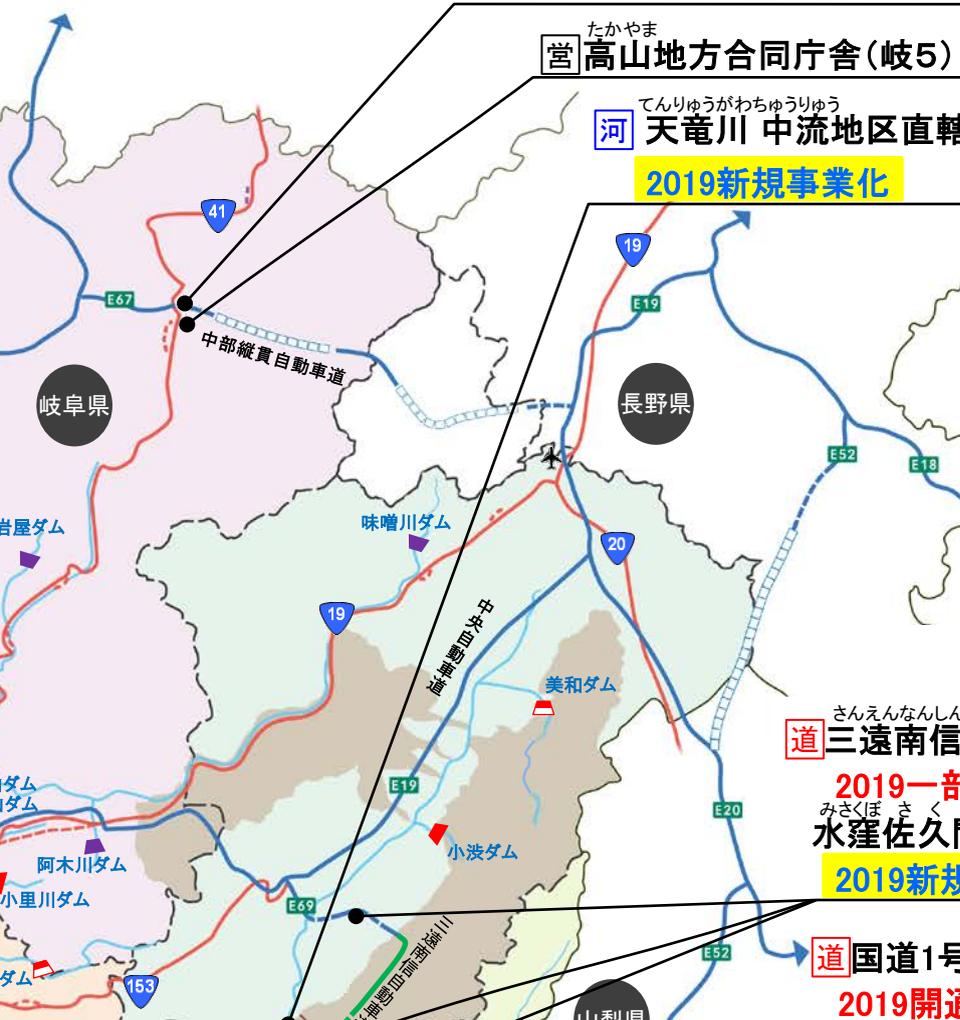
海 するが 駿河海
保全施設
河 みずぼうさい 水防災意識
道 トラック・バ



道 中部縦貫自動車道
ちゅうぶ たかやまきよみ
 国道158号 高山清見道路(岐3)

営 高山地方合同庁舎(岐5)

河 天竜川 中流地区直轄地すべり対策事業(長1)
 2019新規事業化



道 三遠南信自動車道(静3, 愛3, 長2)
 2019一部開通予定
 水窪佐久間道路
 2019新規事業化

道 国道1号 笹原山中バイパス(静3)
 2019開通予定



道 伊豆縦貫自動車道(静3)

河 由比地区直轄地すべり
 対策事業(静2)

港 清水港 日の出地区岸壁改良事業(静4)

意識社会再構築ビジョン(施1)

バス渋滞ポイントにおける対策(施2)

岐阜県

個表一岐 1

【事業主体：国】

きそがわ はたおさ きそがわ
木曾川上流河川改修事業 [幡長地区他] (木曾川水系)

平成31年度当初：55.1億円
(岐阜県分：49.9億円、愛知県分：5.2億円)

1. 事業の必要性及び概要

木曾川水系長良川 幡長地区は、河道断面不足により流下能力が著しく不足し、決壊・氾濫による甚大な被害が発生する恐れがある。

このため、河道掘削を実施し、早期に安全性の向上を図る。

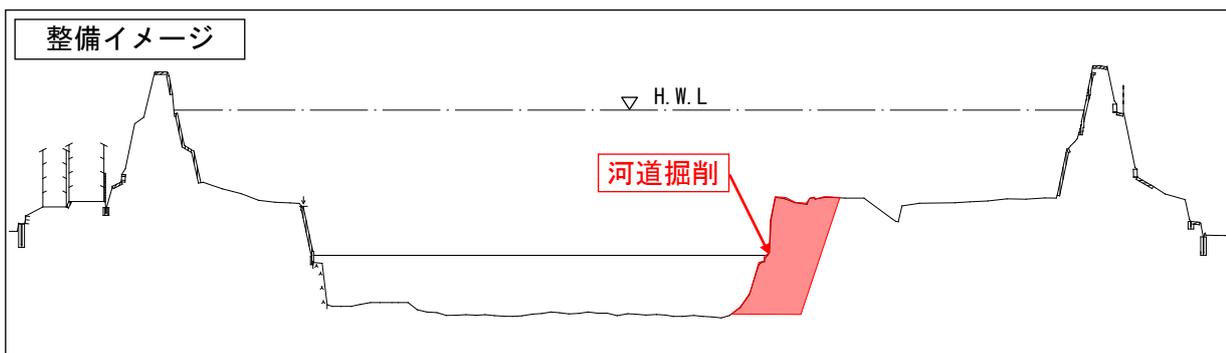


2. 事業箇所

岐阜県 海津市

3. 平成31年度事業予定内容及び現在の実施状況

河道掘削の実施し、平成31年度に完成予定。(長良川海津河道掘削事業)

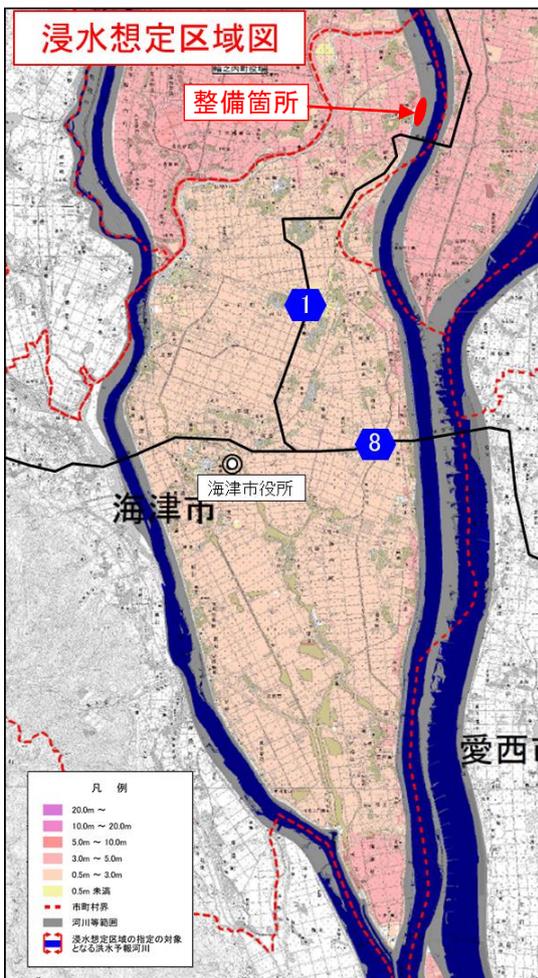


4. 整備効果

○重点：国民の安全・安心の確保・「防災意識社会」への転換に向けた防災・減災対策の推進

河川整備を実施することにより、墨俣^{すのまた}主要地点で戦後最大洪水と同規模の流量 8,000 m³/s（河川整備計画流量）を安全に流下させることが可能となる。

□長良川右岸の想定氾濫と重要施設等位置図



□木曾川と揖斐川に挟まれる海津市では、市役所を含む市街地や、緊急輸送道路に位置付けられた県道が氾濫区域内に位置している。

しんまるやま 新丸山ダム建設事業

平成31年度当初：88.3億円

1. 事業の必要性及び概要

木曾川^{きそがわ}は我が国有数の大河川であり、流域には約235万人が生活し、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基盤となっています。一方、下流部は、我が国最大のゼロメートル地帯であり、ひとたび災害等が発生した場合には、被害は甚大となります。

そのため、本事業では既設丸山ダムの堤体を嵩上げ^{かさ}し、洪水調節機能を強化することにより、木曾川中下流部の洪水氾濫から人々の暮らしを守るとともに、流水の正常な機能の維持及び発電を行います。

2. 事業箇所

右岸：岐阜県加茂郡八百津町^{かもぐんやおつちょう}

左岸：岐阜県可見郡御嵩町^{かにぐんみたけちょう}
(木曾川水系木曾川^{きそがわ きそがわ})



3. 平成31年度実施予定内容及び現在の実施状況

早期の本体工事着手に向けて引き続き転流工を整備するとともに、付替道路工事等を推進させます。



新丸山ダム完成予想図



転流イメージ図



転流工施工状況
(呑口部)



転流工施工状況
(トンネル坑内 貫通点)



付替国道418号(潮見地区)

4. 整備効果

○重点：国民の安全・安心の確保・・・洪水被害の軽減

昭和58年9月の台風10号及び秋雨前線による戦後最大洪水が越水したことにより、美濃加茂市及び坂祝町、可児市などで甚大な被害が発生。新丸山ダム^{みのかも}の整備と合わせ河川改修することにより、同規模の洪水を安全に流下させることが可能となる。



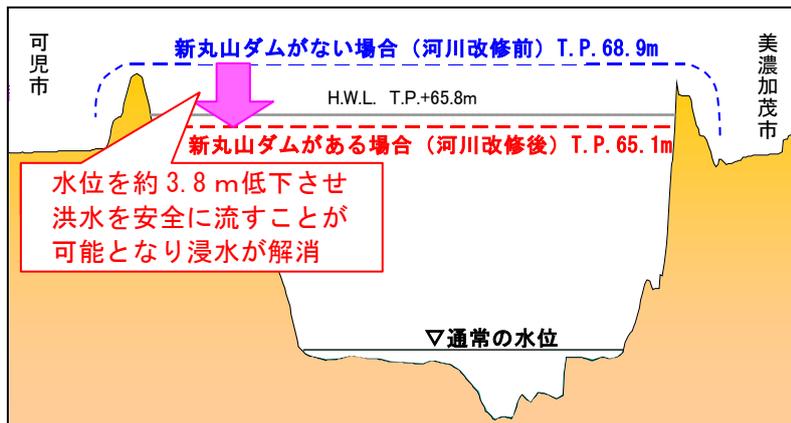
昭和58年9月洪水での浸水範囲



写真1: 軒下まで浸水した家屋



写真2: 消防団員により救出される被災者



昭和58年9月洪水と同規模洪水が発生した場合の治水効果 (河口から67.0km付近)



写真3: 河川敷に置かれた水害廃棄物
※写真1, 2, 3はS58.9出水の被災状況

○重点：地域の活性化と豊かな暮らしの実現・・・移動時間の短縮

約40分短縮

付替道路により八百津町市街地～恵那市飯地地区間の移動時間の大幅な短縮

県道篠原八百津線・県道恵那八百津線経由：約75分

付替国道418号（丸山バイパス）経由：約35分



とうかいかんじょう
国道475号 東海環状自動車道
ちゅうぶじゅうかん たかやまきよみ
国道158号 中部縦貫自動車道 高山清見道路
ぐじょうおおはし
国道156号 郡上大橋架替

平成31年度当初【東海環状自動車道】：316.1億円
 [岐阜県分]：282.0億円
 【高山清見道路】：41.6億円
 【郡上大橋架替】：0.5億円

1. 事業の必要性及び概要

- 東海環状自動車道は、地域活性化・地域開発の支援を目的とした名古屋圏の環状道路を形成する延長約153kmの高規格幹線道路です。
- 高山清見道路は、高速アクセス性の向上（観光の周遊性向上）や並行する国道158号の交通渋滞の緩和、救急医療活動の支援等を目的に計画された延長24.7kmの高規格幹線道路です。
- 郡上大橋架替は、狭小幅員による物流や交通安全上の課題解消を目的に計画された橋梁架替事業です。



2. 事業箇所

- 東海環状自動車道：愛知県豊田市 ~ 三重県四日市市
- 高山清見道路：岐阜県高山市清見町 ~ 高山市丹生川町
- 郡上大橋架替：岐阜県郡上市八幡町島谷 ~ 郡上市八幡町尾崎町

3. 平成31年度事業予定内容及び現在の実施状況

■ 東海環状自動車道

- 【関～養老（延長44.2km）】 【養老～北勢（延長18.0km うち岐阜県9.0km）】
- 関広見IC～高富IC（仮称）間（延長9.0km）、大野・神戸IC（仮称）～大垣西IC間（延長7.6km）の改良工事、橋梁工事等を推進。 《2019年度開通予定》
- 高富IC（仮称）～大野・神戸IC（仮称）間（延長18.5km）の橋梁工事、トンネル工事等を推進。 《2024年度開通見込み※1》
- ※1：財投活用による整備加速箇所※2
- ※2：このほかに、土岐JCT～美濃加茂IC間の速度低下箇所に付加車線を設置
- 養老IC～北勢IC（仮称）間（延長18.0km）の改良工事、橋梁工事等を推進。（岐阜県）

■ 高山清見道路（延長24.7km）

- 高山IC～丹生川IC（仮称）間（延長9.5km）の用地買収、橋梁工事等を推進。

■ 郡上大橋架替（延長0.4km）

- 測量、設計及び関係機関協議を推進。 《2019年度新規事業化》



2019年度開通に向け工事が進む
東海環状自動車道 高富IC付近



2019年度開通に向け工事が進む
東海環状自動車道 大野・神戸IC



幅員狭小な国道156号郡上大橋
郡上大橋架替 2019年度新規事業化

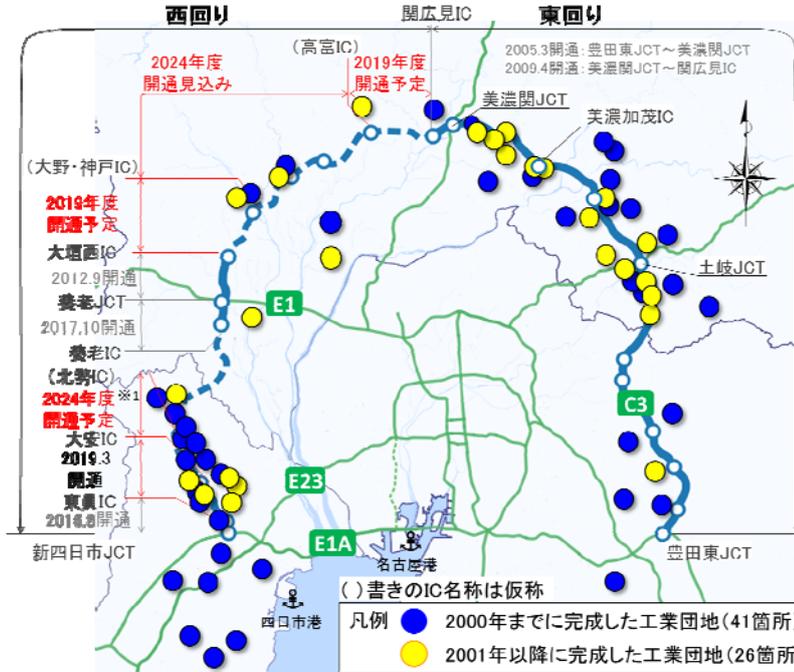
4. 整備効果

➤ ○重点：力強く持続的な経済成長の実現・・・企業立地の促進

民需誘発！沿線自治体の経済の好循環を促し、沿線地域の産業振興を支援！

- 東海環状自動車道が民間需要を喚起し、沿線工業団地の従業者数は**約3.6万人増加**、東回り沿線市町の製造品出荷額等は**約1.6倍に増加**、西回り沿線も**約1.4倍に増加**。
- 沿線市町の法人税収は**約27億円増加**し、全国平均が減少するなか**増加を堅持**。

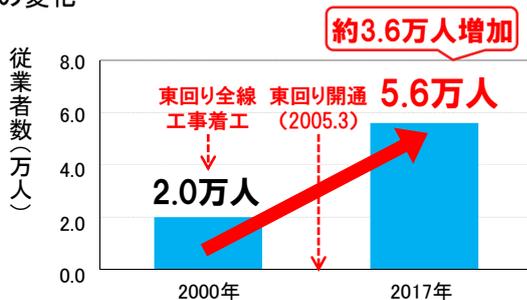
■東海環状自動車道沿線に分布する工業団地



※1: 用地取得等が順調な場合

出典: 自治体調査結果(2017.1)

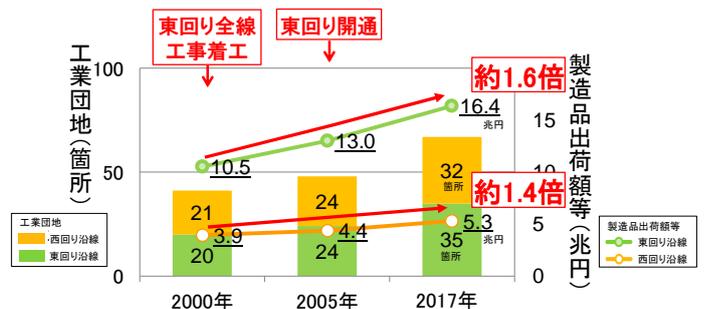
■2000年以降に立地した沿線工業団地の従業者数の変化



・沿線自治体: 東海環状自動車道が通過する市町(東回り: 8市4町、西回り: 7市4町)

出典: 自治体調査結果(2017.1)

■工業団地と製造品出荷額等の推移



・沿線自治体: 東海環状自動車道が通過する市町(東回り: 8市4町、西回り: 7市4町)

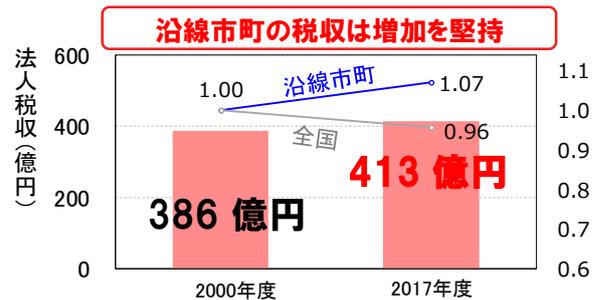
・2017年の製造品出荷額等は2016年実績

出典: 【工業団地】自治体調査結果(2017.1)、【製造品出荷額等】工業統計

■美濃加茂 IC 周辺の状況



■沿線市町の法人税収の推移



・法人税収: 市町村民税の法人税割と法人均等割の和

・沿線自治体: 東海環状自動車道が通過する市町(東回り: 8市4町、西回り: 7市4町)

出典: 地方財政状況調査

きそさんせん
国営木曾三川公園（国営公園整備事業）

平成31年度当初 : 7.8億円
(岐阜県分：5.0億円、愛知県分：1.8億円、三重県分：1.0億円)

1. 事業の必要性及び概要

本公園は、東海地方の広域的レクリエーション需要に対応するため、木曾三川（木曾川、長良川、揖斐川）が有する広大なオープンスペースを活用して設置した国営公園です。

昭和55年度から事業着手しています。また、昭和62年10月に木曾三川公園センターを一部供用開始して以来、順次整備エリアを拡げ、平成27年度には、部分開園を含む13拠点の全てを開園（H31年3月29日現在、約290ha）し、平成29年10月で開園30周年を迎えました。近年の年間入園者は、約1,000万人であり、全国の国営公園の中で入場者数が一番多い公園です。今後、未供用区域の整備を進め追加供用することにより、さらなる利用促進を図ります。

平成31年度は、アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道における園路広場整備を始めとして、フラワーパーク江南や桑名七里の渡し公園等において整備を推進し、各拠点の早期完成を目指します。



2. 事業箇所

岐阜県海津市海津町、羽島市桑原町、愛知県江南市小杵町、三重県桑名市住吉町 等

3. 平成31年度事業予定内容

- ・ アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道 園路広場整備
- ・ フLOWERパーク江南 園路広場整備
- ・ 桑名七里の渡し公園 修景施設整備 等

国営木曾三川公園の主な整備箇所

アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道
(岐阜県羽島市)

園路広場整備

桑名七里の渡し公園 (三重県桑名市)

修景施設整備

フラワーパーク江南 (愛知県江南市)

園路広場整備

4. 整備効果

○重点：豊かな暮らしの礎となる地域づくり・・・賑わいの場の創出

国営木曾三川公園における年間入園者数が、約1,000万人

◆地域主催のイベントの実施などにより地域の活力・魅力づくりに貢献。

◆防災訓練での利用など地域の防災・減災機能の強化に貢献。

地域の活力・魅力づくり

○近年の年間入園者数は、約1,000万人。(全国の国営公園の中で第1位)

○国営公園を利用したイベント開催により、地域の活力・魅力づくりに貢献。



木曾三川交流レガッタ (海津市・長良川サービスセンター)



稲沢サンドフェスタ (稲沢市・ワイルドネイチャープラザ)



リバーサイドフェスタ (一宮市・138タワーパーク)

地域の防災・減災機能の強化

○地域防災計画における一次避難地としての活用や当該避難地における防災訓練など、地域の防災・減災機能強化に貢献。



防災関連イベント (江南市・フラワーパーク江南)



公園を利用した防災訓練 (愛西市・東海広場)



公園を利用した防災訓練 (羽島市・桜堤サブセンター)

環境保全意識の向上

○河川ならではの自然環境の連続性確保に配慮した公園整備や環境を活かした環境教育プログラム等を開催することで、地域の環境保全意識の向上に貢献。



ビンゴゲームを用いた自然観察会 (各務原市・河川環境楽園)



自然体験プログラム (各務原市・かさだ広場)



水郷倶楽部 田植え体験 (海津市・アクアワールド水郷パークセンター)

たかやま
高山地方合同庁舎（庁舎整備）

平成31年度当初：8.0億円

1. 事業の必要性及び概要

既存庁舎の耐震性能不足や老朽化による機能の不具合解消を図るとともに、にぎわいの創出等により地域の活性化に積極的に貢献できるように高山地方合同庁舎の整備を行います。

2. 事業箇所

岐阜県^{たかやま}高山市

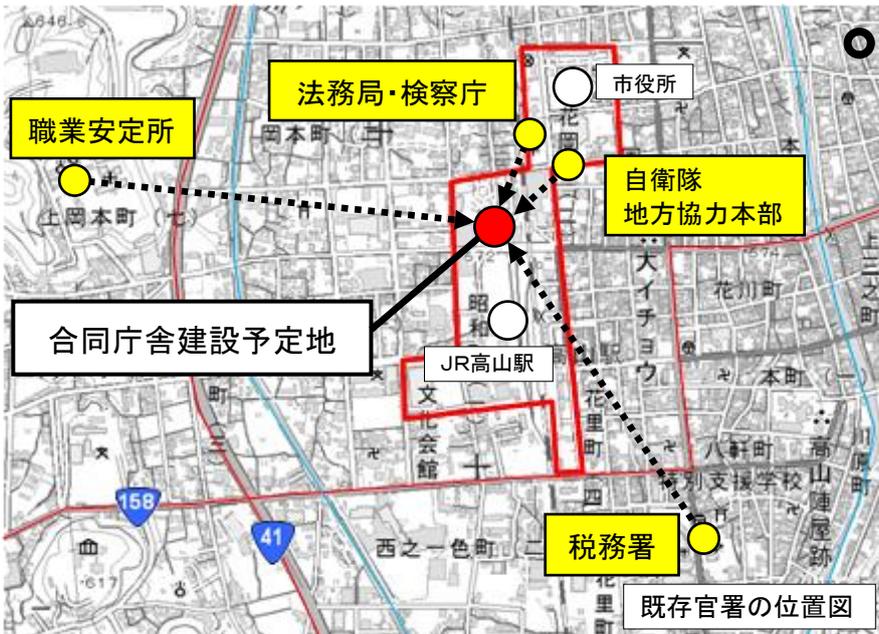
3. 平成31年度実施予定内容及び現在の実施状況

合同庁舎の新設工事を引き続き実施します。



【整備概要】

鉄筋コンクリート造 地上4階 延べ面積5,467㎡



【凡例】

- 高山市シビックコア地区
- 入居予定官署



完成成予想パース

4. 整備効果

○重点：国民の安全・安心の確保

・高山地方合同庁舎の整備により、入居予定官署の既存庁舎の耐震性能不足、経年による老朽、狭隘等の問題を解消し、利用者の安全・安心と利便性を確保します。

・合同庁舎は高山駅を中心としたシビックコア地区整備計画において主要な施設に位置付けられており、高山市と連携し、にぎわいが創出され、地域の個性を尊重した魅力あるまちづくりに貢献します。



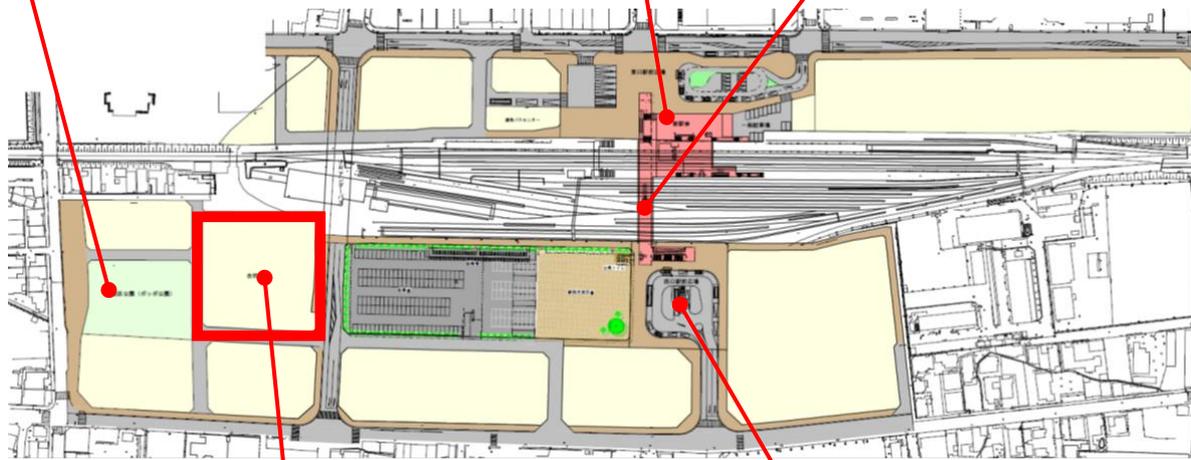
街区公園(ポップポ公園)



JR高山駅



高山駅東西自由通路



高山地方合同庁舎
建設予定地

高山地方合同庁舎完成イメージ



西口駅前広場

合同庁舎周辺の整備イメージ図

静岡県

個表一静 1

【事業主体：国】

するが 駿河海岸直轄海岸保全施設整備事業

平成31年度当初：15.9億円

1. 事業の必要性及び概要

するが 駿河海岸は、^{おおいがわ}大井川からの土砂供給量の減少や^{おおいがわ}大井川港等による沿岸漂砂の遮断等により海岸侵食が顕著となっており、過去幾度となく高潮災害に見舞われています。このため、離岸堤等の整備を実施し、早期の高潮・侵食に対する安全性の向上を図ります。

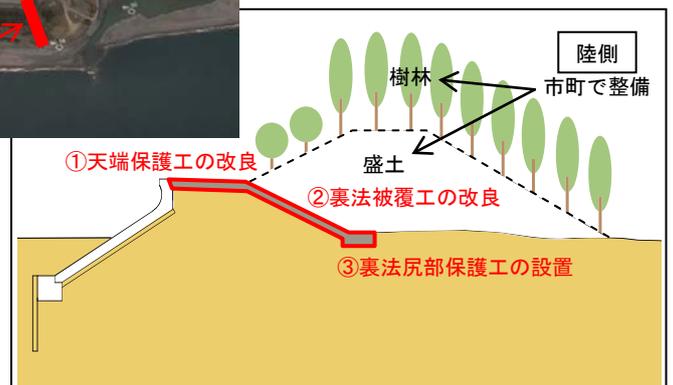
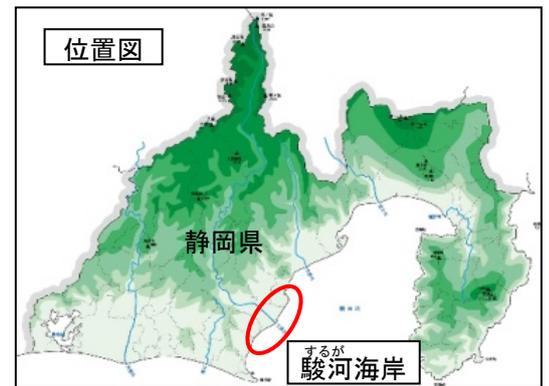
また、当海岸は南海トラフ巨大地震等に伴う津波により甚大な被害が想定されることから、L1津波を超える津波に対しても減災効果を発揮する粘り強い構造の堤防等の整備を推進します。

2. 事業箇所

静岡県 ^{やいづ}焼津市、^{よしだ}吉田町

3. 平成31年度事業予定内容及び現在の実施状況

有脚式離岸堤、養浜工を進めるとともに、粘り強い構造の海岸堤防の整備を推進。



粘り強い構造の海岸堤防イメージ図

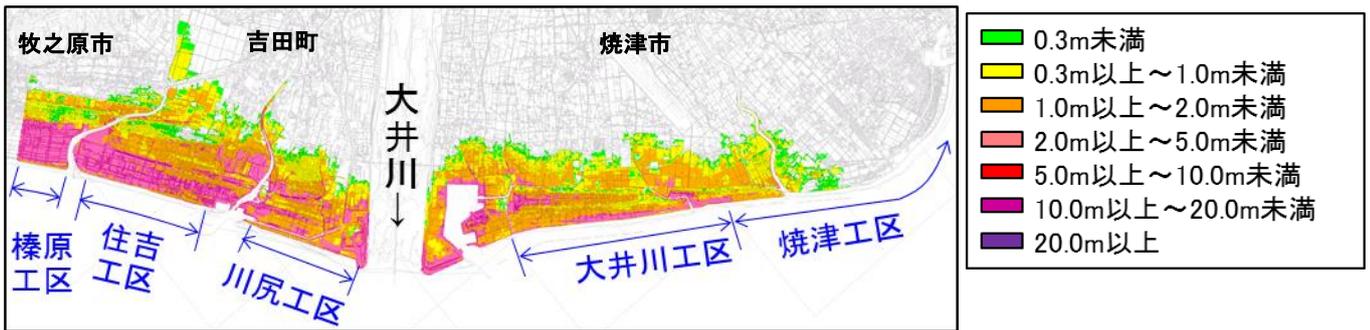
4. 整備効果

○重点：国民の安心・安全の確保・・・津波被害の軽減
 <南海トラフ巨大地震に対する被害が約2～3割減少>

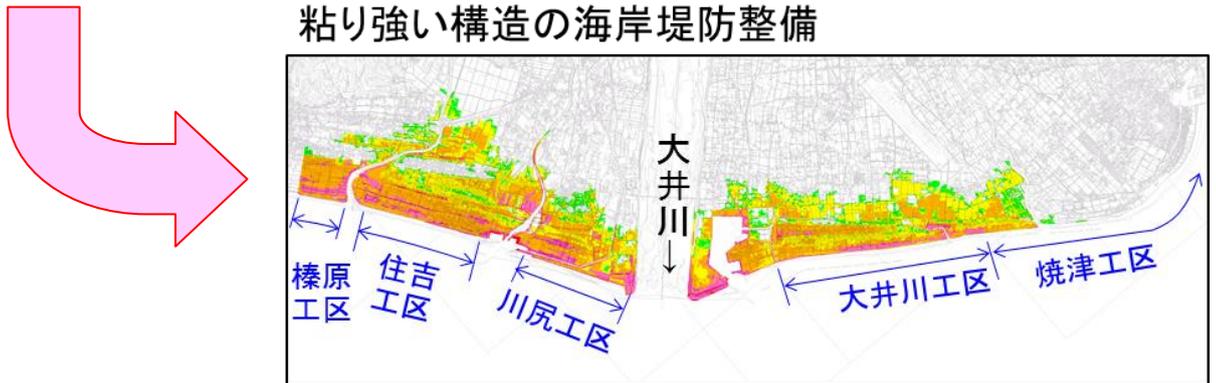
■南海トラフ巨大地震が発生し、津波が来襲した場合、駿河海岸沿岸における津波による浸水区域内の人口は、約20,300人と想定される。
 ■粘り強い構造の海岸堤防を整備することで、津波来襲時における減災効果を発揮し、浸水区域内の人口は、約15,300人まで低減する効果が期待される。

浸水想定区域

現況

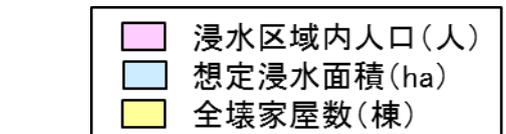
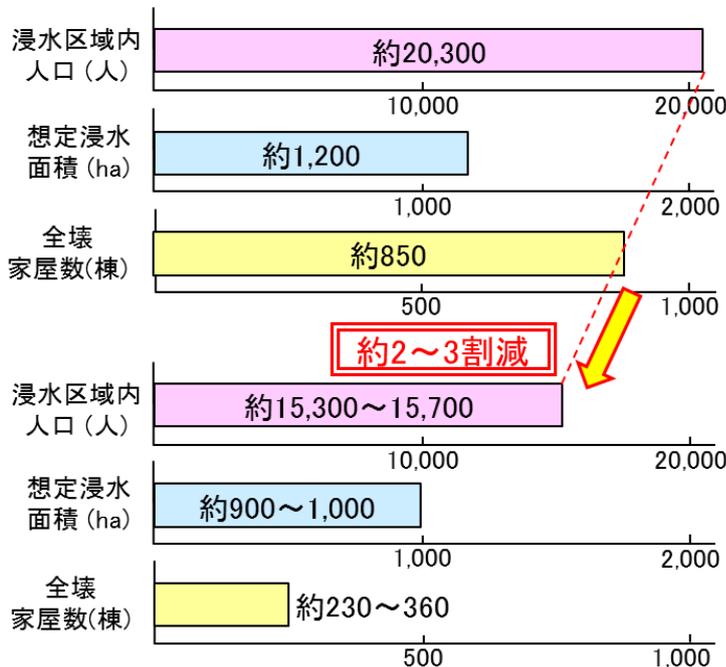


粘り強い構造の海岸堤防整備

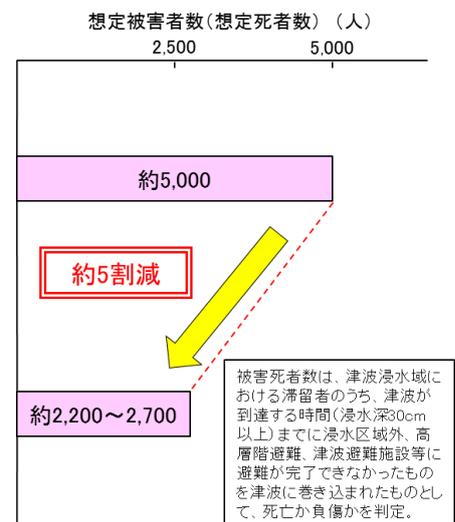


堤防の決壊までの時間が、5分程度増加すると仮定した場合

期待される被害軽減効果



※想定被害者数は最大5割減少も



※各想定被害は、津波シミュレーションを用いて榛原工区～焼津工区の被害軽減効果を算出

ゆい
由比地区直轄地すべり対策事業

平成31年度当初：20.8億円

1. 概要

由比地区には日本の大動脈（東名高速道路、国道1号、JR東海道本線）が集中しており、豪雨や南海トラフ地震の発生等に伴う地すべりにより、幹線交通が分断され人命救助や経済活動に甚大な影響を及ぼすことが想定されるため、地すべり対策を推進します。



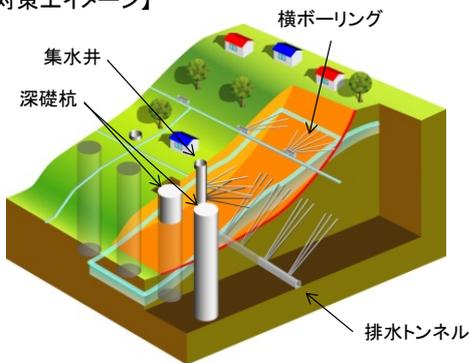
2. 事業箇所

しずおかけん しずおかし しみずく ゆい にしくらさわ
静岡県 静岡市 清水区 由比 西倉沢

3. 平成31年度事業予定内容及び現在の実施状況

- ・引き続き、排水トンネル工、深礎工を推進

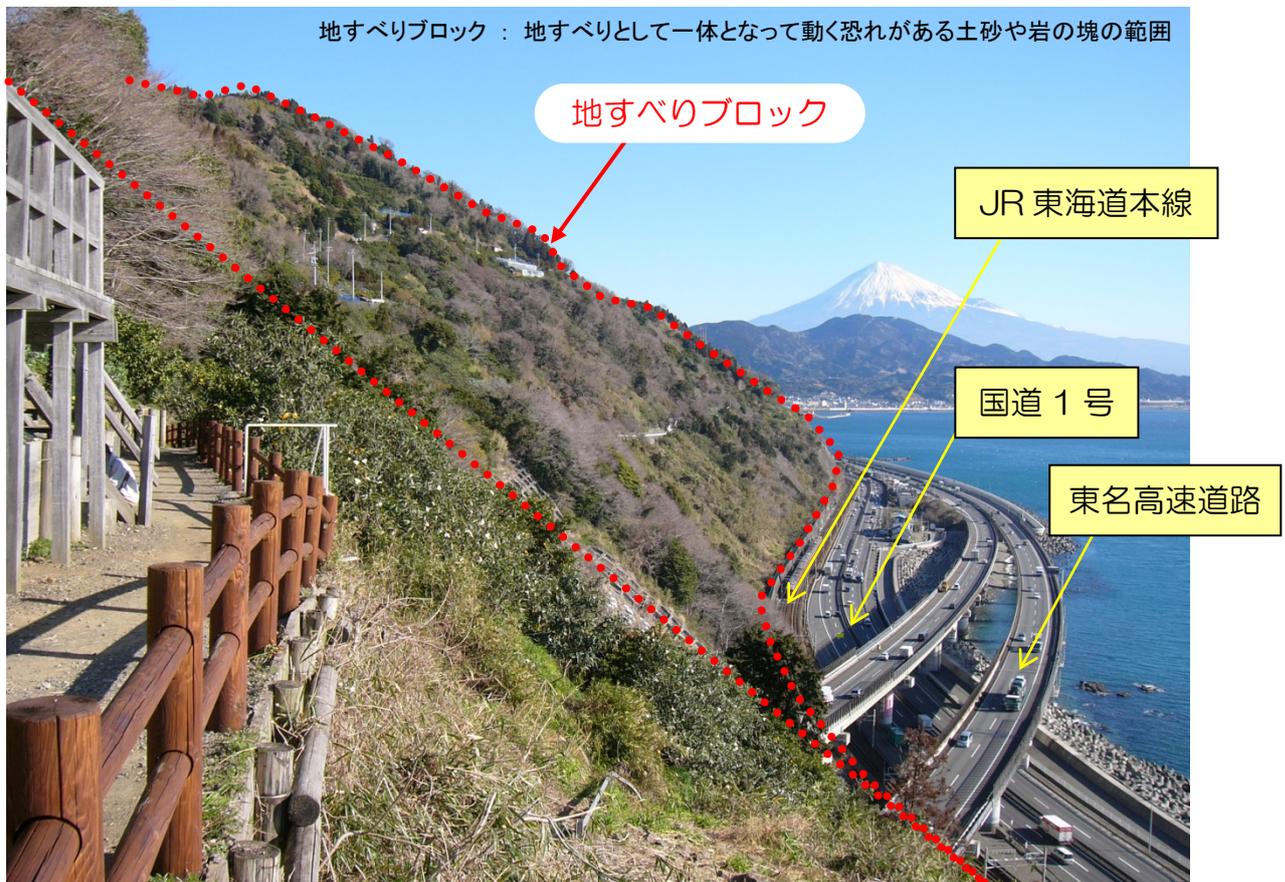
【対策イメージ】



深礎工



排水トンネル工



地すべりブロック：地すべりとして一体となって動く恐れがある土砂や岩の塊の範囲

地すべりブロック

JR 東海道本線

国道 1 号

東名高速道路

○重点：国民の安全・安心の確保・・・重要交通網

■由比地区の事業進捗状況

- ・H28 年度末までに集水井・横ボーリング及び大久保排水トンネルが完成しています。
- ・今後、山中排水トンネル、深礎工、鋼管杭の施工を推進します。

■由比地区において想定される被害

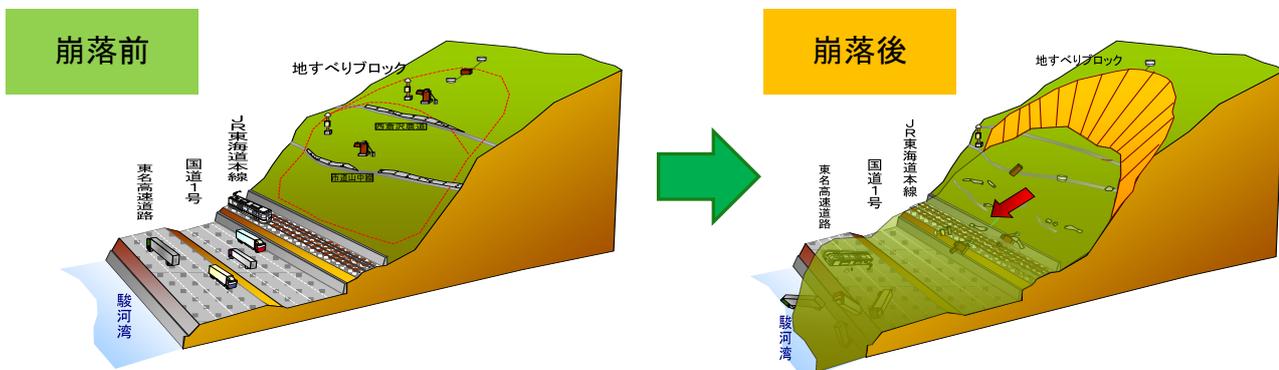
- ・由比地区地すべりの直接被害想定範囲内の施設は地すべり崩落土砂により埋没することが想定されます。
- ・国道1号・東名高速道路・JR東海道本線の重要交通網の長期間途絶により、地域はもとより、日本経済全体への影響が懸念されます。
- ・地すべり崩落により、多数の人命が失われる可能性があります。



■重要交通網の交通量

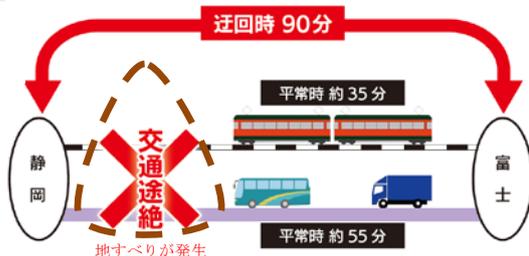
交通種別	H27
国道1号 平均交通量	約64,000台／日
東名高速道路 平均交通量	約35,000台／日
JR東海道本線 旅客列車運行本数	上下150本／日

重要交通網(国道1号、JR東海道本線(旅客、貨物))



■災害発生時の影響

- ・地すべりが発生すると、東名高速道路、国道1号、東海道本線が途絶し、迂回ルートに車両が集中するため、交通渋滞が発生し移動時間が増大します。



■事業効果

- ・日本経済全体への影響が懸念される国道1号・東名高速道路・JR東海道本線の重要交通網の交通途絶が解消されます。
- ・地すべりの発生を防止することにより、多数の人命が失われることを防止します。

国道1号 国道414号 いずじゅうかん 伊豆縦貫自動車道
 国道474号 さんえんなんしん 三遠南信自動車道
 国道1号 ささはらやまなか 笹原山中バイパス

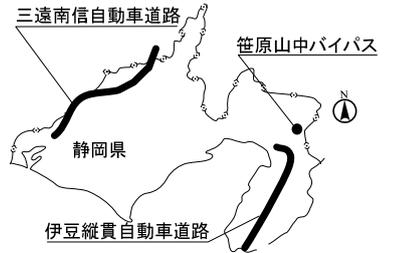
平成31年度当初【伊豆縦貫自動車道】： 68.7億円
 【三遠南信自動車道】： 185.2億円
 [静岡県分]： 22.8億円
 【笹原山中バイパス】： 33.1億円

1. 事業の必要性及び概要

- 伊豆縦貫自動車道は、伊豆半島部を高速ネットワークで結ぶことにより、観光の活性化などを目的に計画された延長約60kmの高規格幹線道路です。
- 三遠南信自動車道は、中央道、新東名と連絡し広域ネットワークを構築し、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を目的に計画された延長約100kmの高規格幹線道路です。
- 笹原山中バイパスは、国道1号現道の幅員狭小、線形急勾配区間を回避することにより、交通安全の確保を図ることを目的とした延長4.3kmの道路です。

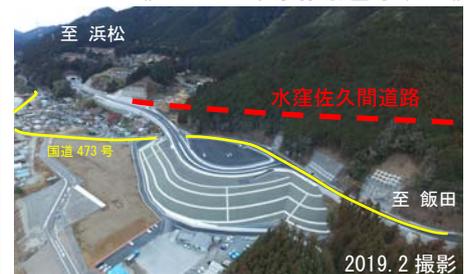
2. 事業箇所

- 伊豆縦貫自動車道：静岡県沼津市ぬまつ ～ 静岡県下田市しもだ
- 三遠南信自動車道：長野県飯田市いいた ～ 静岡県浜松市はまつ
- 笹原山中バイパス：三島市山中新田みしま やまなかしん でん ～ 三島市笹原新田みしま ささはらしん でん



3. 平成31年度事業予定内容及び現在の実施状況

- 伊豆縦貫自動車道
 - 【東駿河湾環状道路（延長15.0km）】 【天城北道路（延長6.7km）】
 - 【河津下田道路（Ⅱ期）（延長6.8km）】 【河津下田道路（Ⅰ期）（延長5.7km）】
 - 河津IC（仮称）～下田IC（仮称）間（延長12.5km）の用地買収、橋梁・トンネル工事等を推進。
- 三遠南信自動車道
 - 【佐久間道路・三遠道路（延長27.9km うち静岡県13.4km）】
 - 【水窪佐久間道路（延長14.4km）】
 - 【青崩峠道路（延長5.9km うち静岡県2.6km）】
 - 水窪IC（仮称）～佐久間川合IC間（延長14.4km）の測量、設計及び関係機関協議を推進。 《2019年度新規事業化》
 - 小嵐IC（仮称）～水窪北IC（仮称）間（延長5.9km）のトンネル工事等を推進。
- 笹原山中バイパス（延長4.3km）
 - 三島市山中新田～三島市笹原新田（延長2.7km）の改良工事、橋梁工事、舗装工事等を推進。 《2019年度開通予定》



橋梁工事等が進む 伊豆縦貫自動車道
河津下田道路（Ⅱ期） 河津IC（仮称）付近

2019年度開通に向け工事が進む
笹原山中バイパス 2号橋付近

開通した佐久間川合ICからの延伸区間
水窪佐久間道路 2019年度新規事業化

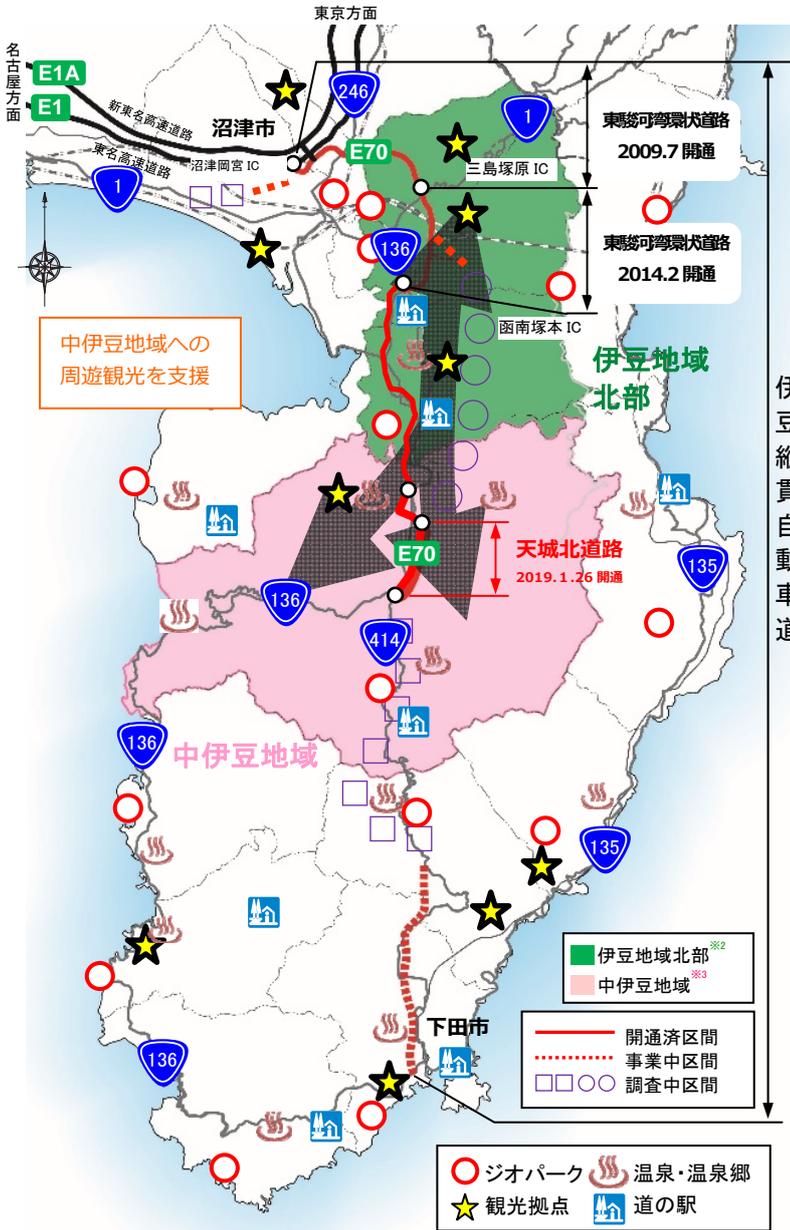
4. 整備効果

○重点：豊かな暮らしの礎となる地域づくり・・・観光振興の推進

道路ネットワーク整備による交通状況改善・経済効果

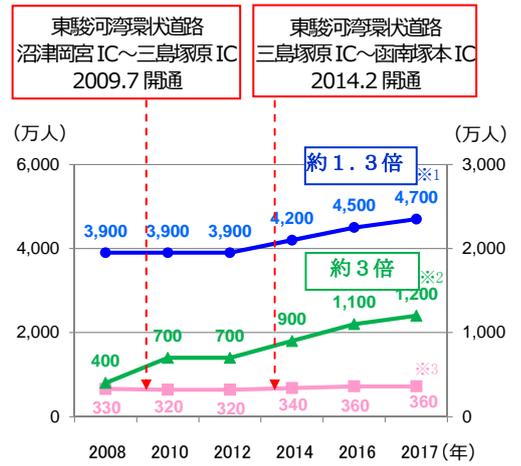
- 東駿河湾環状道路が開通した伊豆地域北部※2の観光客数は約3倍に増加
- 天城北道路の開通により中伊豆地域※3への周遊観光を期待
- 民間会社試算では、伊豆縦貫自動車道の全線開通により、伊豆地域全体で年間約708億円の経済波及効果が発現見込み

■伊豆半島の観光資源と伊豆縦貫自動車道



【土肥桜まつり】

■伊豆地域の観光客数



資料：静岡県観光交流の動向

※1 伊豆地域全体

※2 伊豆地域北部（三島市、函南町、伊豆の国市）

※3 中伊豆地域（伊豆市）

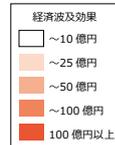
※ジオパーク：「大地の公園」の意味。地球を学び、動植物や生態系と文化や産業等とのつながりを知ることができる場所

■伊豆縦貫自動車道の全線開通による伊豆地域への経済波及効果

伊豆地域全体
約708億円

伊豆地域における 経済波及効果トップ5	
下田市	178.5億円
河津町	97.6億円
伊東市	91.8億円
三島市	61.5億円
伊豆市東部	55.0億円

※太字は伊豆縦貫沿線市町村



出典：2016.12 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)政策研究レポート

しみず ひ の で
清水港日の出地区岸壁改良事業

1. 事業の必要性及び概要

平成 31 年度当初：12.7 億円

港内の物流機能の再編にあわせて、供用後 30 年余りが経過し、老朽化が進行している清水港日の出地区の岸壁において、将来にわたり港湾施設として機能を発揮できるよう、老朽化対策等を推進します。

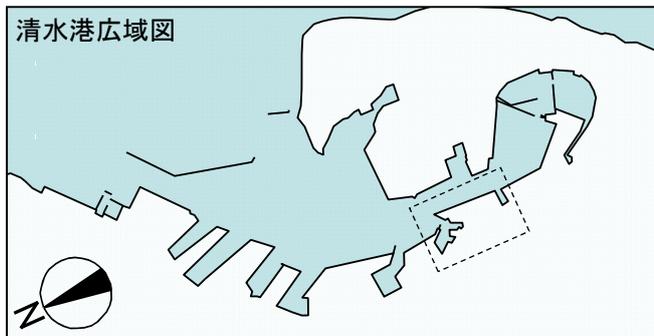


2. 事業箇所

静岡県静岡市

3. 平成 31 年度事業予定内容及び現在の実施状況

老朽化した岸壁の改良工事を実施します。



4. 整備効果

○重点：力強く持続的な経済成長の実現・・・新需要の創出

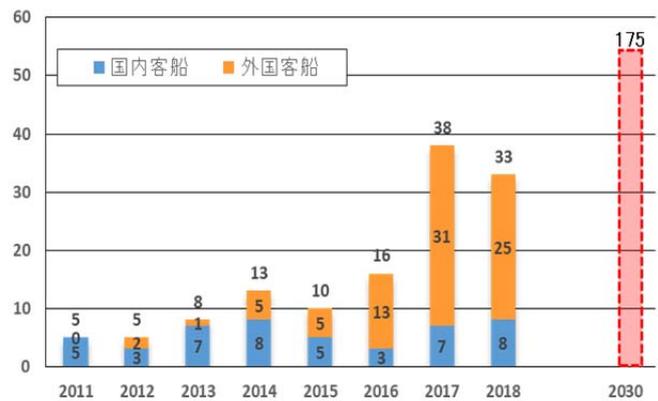
<新需要の創出>

「国際旅客船拠点形成港湾」に指定（平成29年7月）された清水港では、日の出地区において、官民が連携して、急増するクルーズ船の受入環境の整備を推進することにより、新需要の創出を図ります。



日の出地区 客船出航状況

(回) 清水港のクルーズ船寄港実績と推計



※2030年の寄港回数は、国際旅客船拠点形成計画及び港湾管理者による試算。

○重点：国民の安全・安心の確保

<岸壁の老朽化対策>

日の出地区岸壁は、供用から30年余りが経過し、経年劣化が進行していることから、今後の利用を踏まえつつ計画的な老朽化対策が必要になっています。



日の出地区 上部工の劣化状況



日の出地区 床版の劣化状況

きそがわ あいさい
木曾川総合水系環境整備事業 [愛西市・愛西地区 水辺整備]
 きそがわ
(木曾川水系)

平成31年度当初：2.3億円

1. 事業の必要性及び概要

愛西市は、地域の人々の暮らしに密接にかかわってきた土木遺産や治水の歴史を学べる施設、道の駅等の観光拠点、体感・体験して学び楽しめる多様な自然環境などの魅力的な地域資源を有しており、それらを活かし賑わいのある水辺空間の創出を図るため、「愛西市かわまちづくり計画」を策定し、国交省ではかわまちづくり支援制度に係る計画として登録しました。

本計画は、地域資源・拠点を活用した観光ルートの設定・充実化により、観光振興、地域活性化、健康増進への貢献を図るべく、治水上及び河川利用上の安全・安心に向けた河川整備を進めるため、平成31年度より新規事業化し、まちづくりと一体的な水辺整備に新たに着手します。

2. 事業箇所

愛知県 愛西市

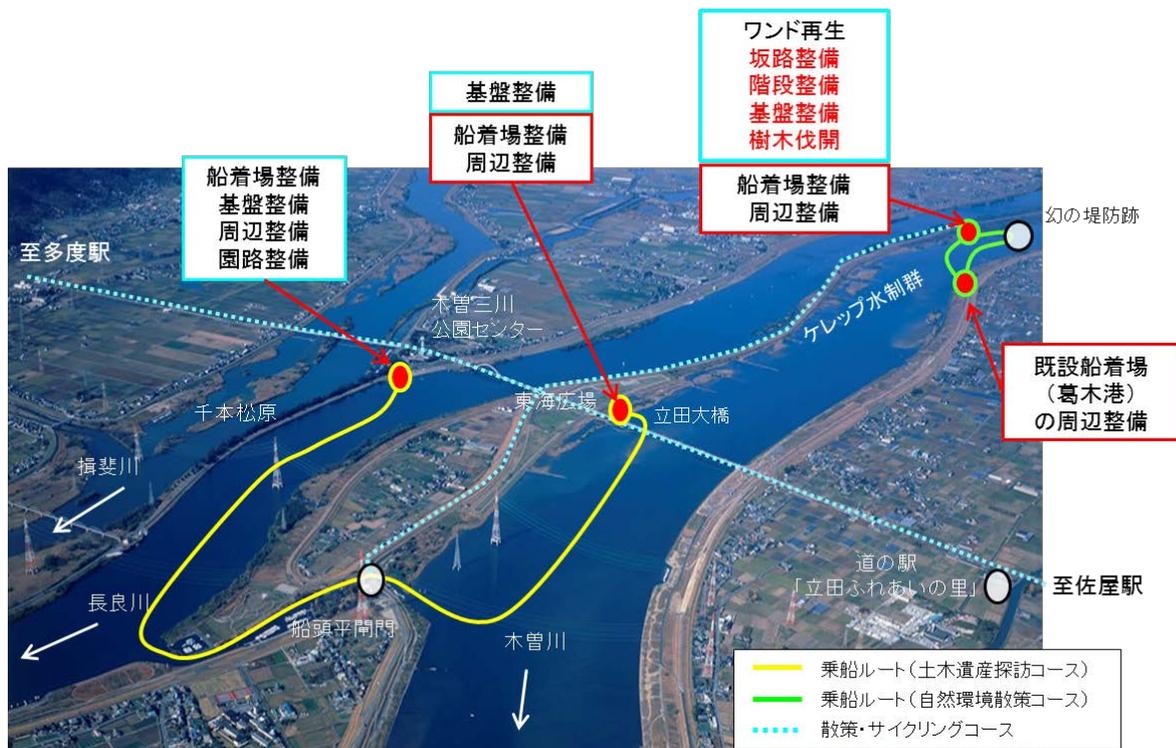
木曾川総合水系環境整備事業
愛西地区 水辺整備



3. 平成31年度事業予定内容及び現在の実施状況

- ・平成31年度より新規着手（基盤整備、樹木伐開等）

整備イメージ



凡例

市整備内容

国整備内容

赤字は、H31年度に国が整備を予定している実施内容

4. 整備効果

○重点：豊かな暮らしの礎となる地域づくり・・・水辺空間の創出

まちと水辺が一体となった魅力ある空間の創出

- 愛西市が進める歴史的土木構造物や国営木曾三川公園などの地域資源を活用したまちづくりと連携することにより、多くの賑わいや良好な水辺空間が創出され、観光振興や地域活性化が期待される。

現在 now



愛西市は、木曾川との深い関わりのなかで生まれた独特の歴史・自然環境を有しているが、それらは点在しており、十分に活用できていない。また、ケレップ水制群の陸地化や、ワンド環境が悪化しており、地域固有の観光資源が失われつつある。

国と市が連携を図り、賑わいのある水辺空間を創出

将来 future



観光船運航ルートの拡充



散策路のイメージ

水辺空間の活用イメージ(整備後)

したら
設楽ダム建設事業

平成31年度当初：156.5億円

1. 事業の必要性及び概要

豊川流域には約59万人が生活し、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基盤を築いてきました。一方、洪水時には、破堤による氾濫等により人家や農作物等に多大な被害をもたらし、渇水時には、度々取水制限や水道用水の減圧給水が行われ、農作物の発育不良などの被害が生じています。

そのため、本事業では設楽ダムを建設することにより、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水の供給を行います。

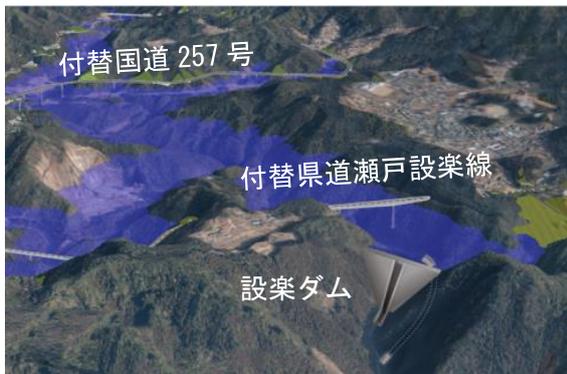


2. 事業箇所

愛知県北設楽郡設楽町（豊川水系豊川）

3. 平成31年度実施予定内容及び現在の実施状況

付替道路工事等を推進するとともに、本体工事（基礎掘削）に着手します。



設楽ダム完成予想図



付替県道設楽根羽線（1号橋）



付替町道平野松戸線



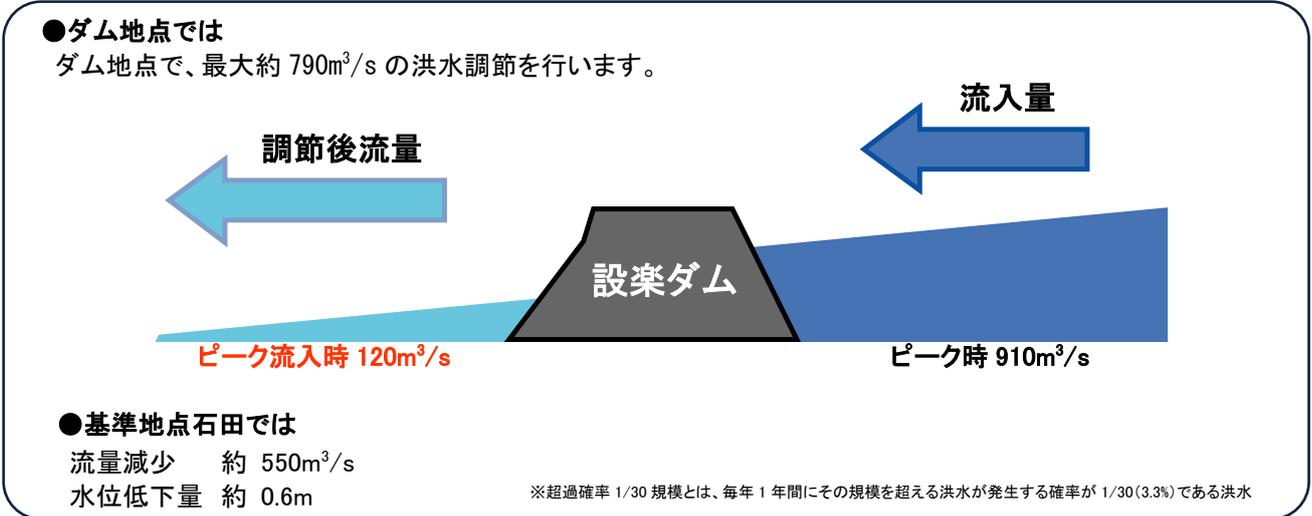
工事用道路（廃棄岩骨材運搬路）

4. 整備効果

○重点：国民の安全・安心の確保・・・洪水被害の軽減

設楽ダムを建設することにより、戦後最大の洪水量を記録した昭和44年8月洪水（年超過確率1/30規模）に対して、基準地点である石田の流量を約550m³/s減らすことにより、河川の水位を約0.6m下げることが可能となる。

設楽ダムと下流の河道改修の効果をあわせて、浸水被害を軽減する。



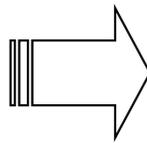
戦後最大の洪水量を記録した昭和44年8月洪水が発生した場合のイメージ

○重点：地域の活性化と豊かな暮らしの実現・・・安定的な水の供給

設楽ダムを建設することにより、10年に1回発生する規模の渇水において、河川流量を増加させ、河川環境を保全するとともに、既得用水の取水の安定化を図る。

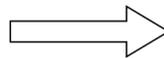


0.0m³/s 時の状況
(大野頭首工下流)



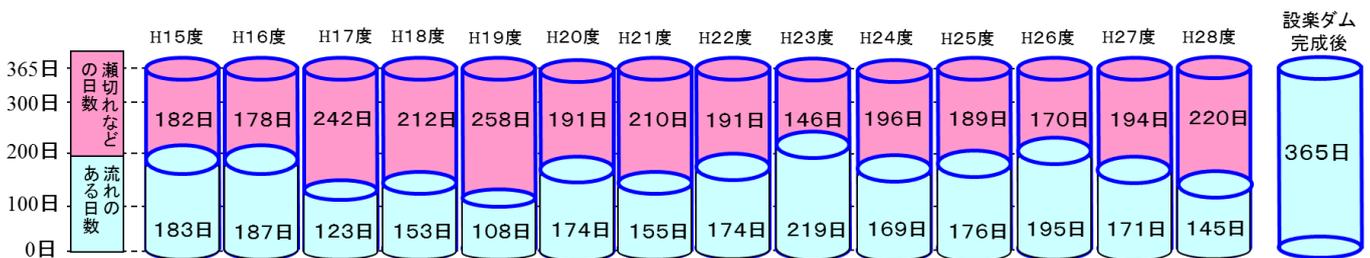
1.3m³/s 時の状況(ダム完成後のイメージ)
(大野頭首工下流)

無水区間の発生など流れの少ない日数：約200日
〔近年(H15年度～H28年度)の年平均〕



設楽ダム完成後：0日※
〔設楽ダムを完成後〕

※10年に1回発生する規模の渇水を想定

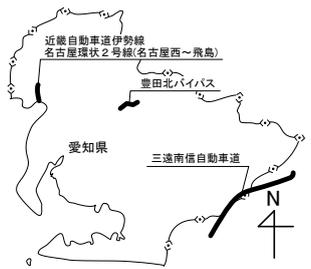


近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線(名古屋西～飛島)
 国道474号 三遠南信自動車道
 国道153号 豊田北バイパス

平成31年度当初	【名古屋環状2号線】	:	0.8億円
	【三遠南信自動車道】	:	185.2億円
	〔愛知県分	:	87.3億円〕
	【豊田北バイパス】	:	15.5億円

1. 事業の必要性及び概要

- 名古屋環状2号線(名古屋西～飛島)は、都市内の渋滞緩和等を目的とした名古屋圏の環状道路を形成する延長12.2kmの高速自動車国道です。
- 三遠南信自動車道は、中央道、新東名と連絡し広域ネットワークを構築し、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を目的に計画された延長約100kmの高規格幹線道路です。
- 国道153号豊田北バイパスは、豊田市街地の交通渋滞緩和、交通安全確保を目的に計画された延長5.7kmの道路です。



2. 事業箇所

- 名古屋環状2号線(名古屋西～飛島) : 名古屋市中川区 ～ 愛知県海部郡飛島村
- 三遠南信自動車道 : 長野県飯田市 ～ 静岡県浜松市
- 国道153号豊田北バイパス : 愛知県豊田市逢妻町～豊田市勤八町

3. 平成31年度事業予定内容及び現在の実施状況

- 近畿自動車道伊勢線
 - 【名古屋環状2号線(名古屋西～飛島) (延長12.2km)】
 - 名古屋西JCT～飛島JCT(仮称)間(延長12.2km)の橋梁工事等を推進。《2020年度開通予定》
- 三遠南信自動車道
 - 【佐久間道路・三遠道路 (延長27.9km うち愛知県14.5km)】
 - 東栄IC～鳳来峡IC間(延長7.1km)の改良工事、橋梁工事等を推進。
- 国道153号豊田北バイパス (延長5.7km)
 - 豊田市平戸橋町～豊田市勤八町(延長0.8km)の改良工事、舗装工事等を推進。《2019年度開通予定》



2020年度開通に向け橋梁工事等が進む
 名古屋環状2号線 飛島大橋



トンネル工事の状況
 佐久間道路・三遠道路 三遠第3トンネル



2019年度開通に向けて工事が進む
 豊田北バイパス 平戸大橋付近

4. 整備効果

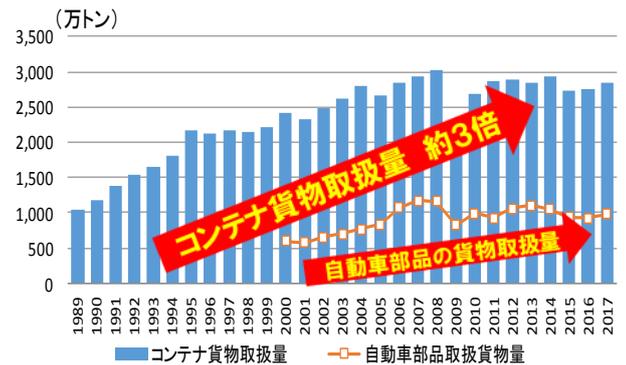
○重点：力強く持続的な経済成長の実現・・・道路・港湾事業の連携

円滑な物流ネットワークを確保し、生産性の向上を支援！

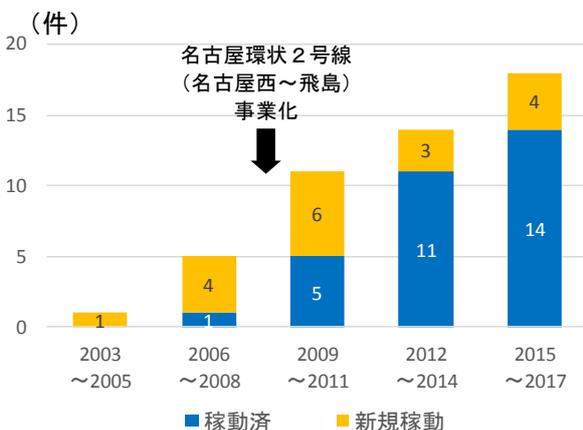
- 名古屋港飛島ふ頭地区のコンテナターミナルの整備により、海外向け自動車部品等の **コンテナ貨物取扱量は約3倍に増加**
- 名古屋港周辺における **物流施設の立地数は増加傾向**。名古屋環状2号線(名古屋西～飛島)の整備により、**平常時、災害時を問わない、安全かつ円滑な物流ネットワークを確保**。2020年度開通見通し公表直後に、最大規模かつ最新設備を備えた **大規模物流施設の建設が決定**



■ 飛島ふ頭地区のコンテナ貨物取扱量



■ 物流施設の立地状況 (名古屋市・弥富市・飛島村)



出典：日本立地総覧（日本立地ニュース社）

■ 名古屋港におけるふ頭再編改良事業



出典：名古屋港飛島ふ頭地区ふ頭再編改良事業、名古屋港ふ頭再編改良事業（国土交通省港湾局）を基に作成

なごや
名古屋港ふ頭再編改良事業

1. 事業の必要性及び概要

平成31年度当初：10.4億円

我が国の基幹産業である自動車関連産業の国際競争力を維持・強化することを目的として、名古屋港金城ふ頭地区において、非効率な荷役形態の改善及び船舶の大型化への対応を図るため、水深12mの国際物流ターミナルの整備にあわせて施設利用の再編を行います。

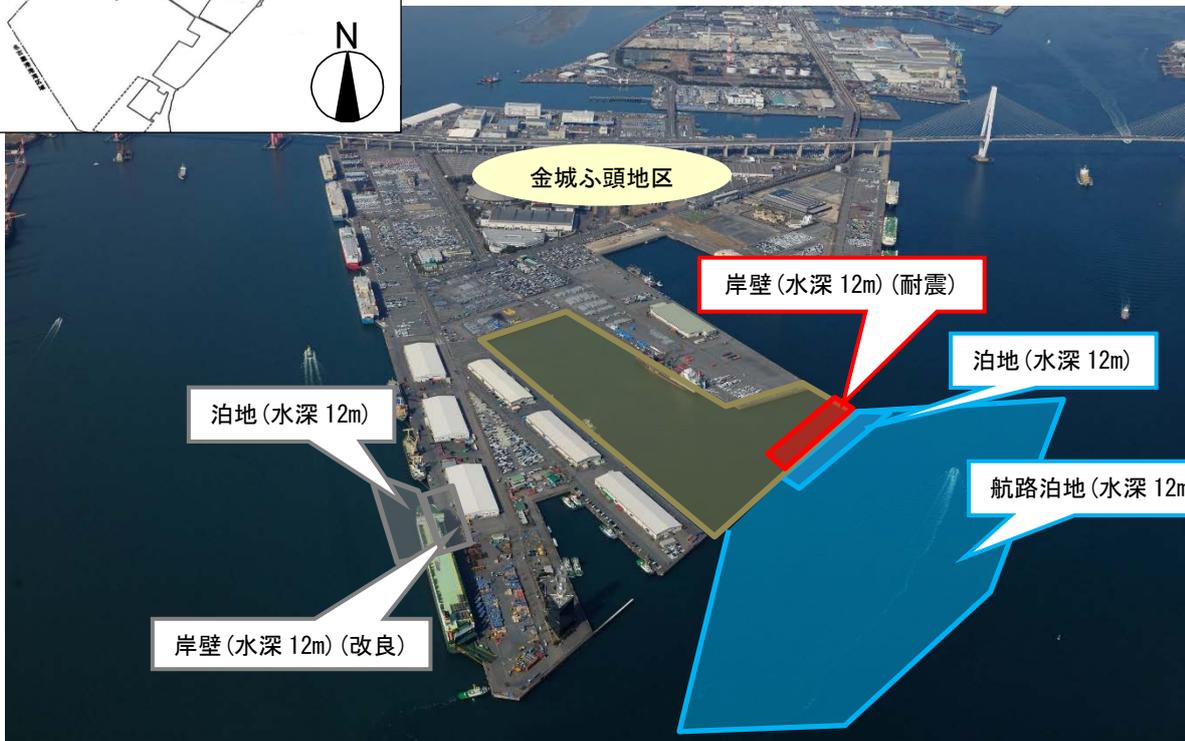
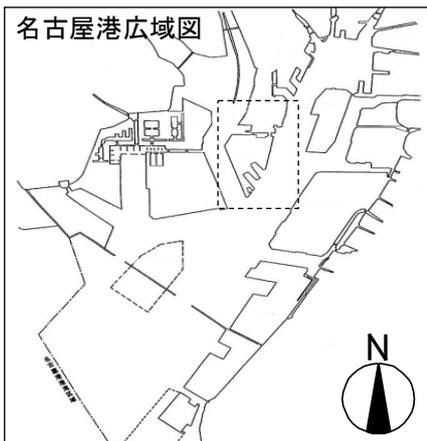


2. 事業箇所

愛知県 名古屋市

3. 平成31年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、耐震強化岸壁の整備を推進します。



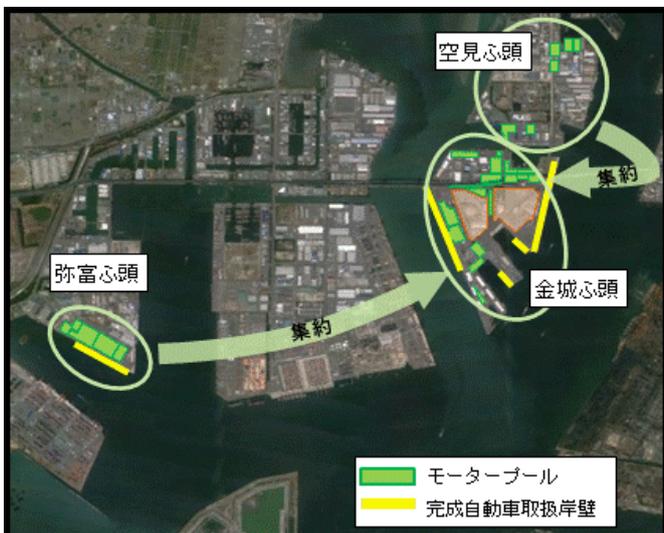
4. 整備効果

○重点：力強く持続的な経済成長の実現・・・物流の効率化

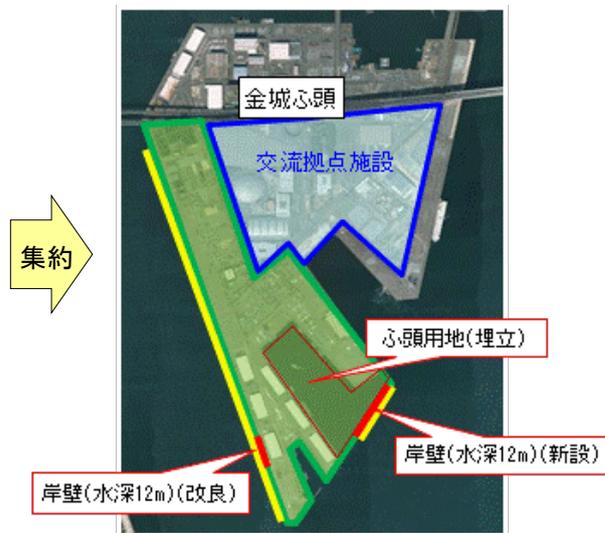
<モータープールの集約>

岸壁・ふ頭用地を新たに整備することで、点在するモータープールが金城ふ頭に集約され、輸送コストの低減が図られます。

【現状】



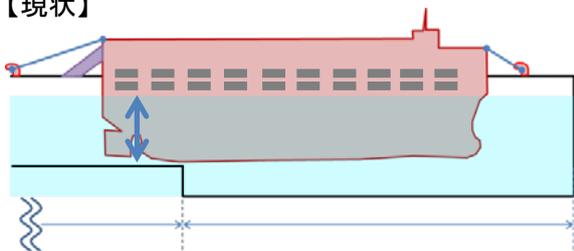
【整備後】



<自動車運搬船の大型化への対応>

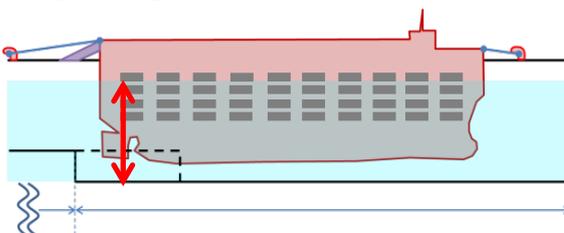
水深 12m を必要とする大型船の着岸に対応できる岸壁を整備することで、喫水調整が不要となり、輸送コストの低減が図られます。

【現状】



増深

【整備後】



〔金城ふ頭地区における完成自動車取扱状況〕

なごや とびしま
名古屋港飛島ふ頭地区ふ頭再編改良事業

1. 事業の必要性及び概要

自動車部品や産業機械などの東南アジア向けコンテナ貨物の増加やコンテナ船の大型化に対応するため、名古屋港飛島ふ頭地区において、既存施設の老朽化対策とあわせて港湾施設の増深改良を行います。

平成31年度当初：62.7億円

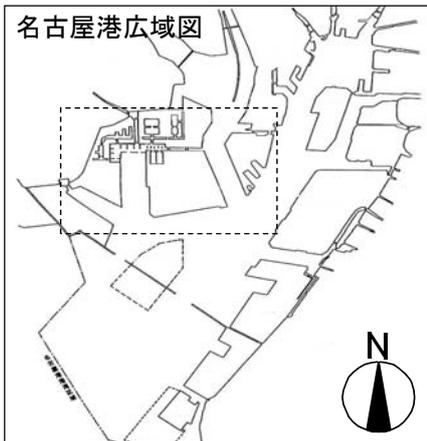


2. 事業箇所

愛知県海部郡飛島村

3. 平成31年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、岸壁の増深改良工事を実施します。

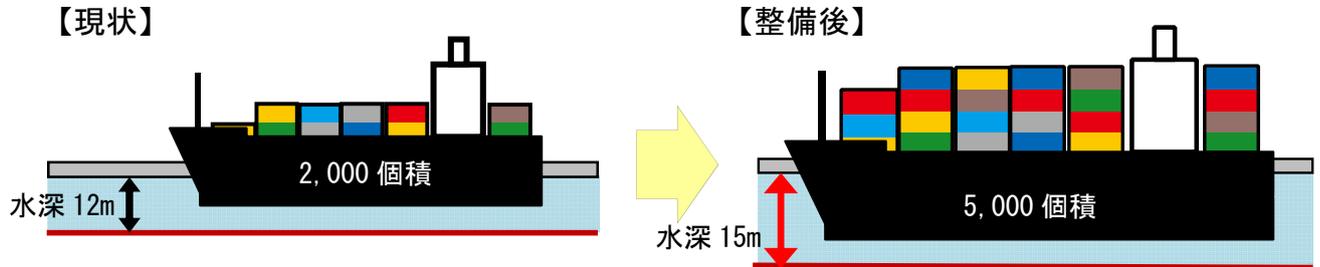


4. 整備効果

○重点：力強く持続的な経済成長の実現・・・物流の効率化

<コンテナ船の大型化への対応>

これまで 2,000 個積コンテナ船の着岸しかできなかった施設を増深することにより、5,000 個積大型コンテナ船の着岸が可能となり、輸送コストの低減が図られます。



<コンテナターミナルの一体利用>

隣接した岸壁と同一の水深 15m まで掘り下げるとともに、ガントリークレーンのレール幅を合わせることで、延長 1,400m のコンテナターミナルとして一体的かつ柔軟な利用が可能となります。



ガントリークレーンのレール幅の違い

三重県

個表一三 1

【事業主体：国】

きそがわ

木曾川下流河川改修事業 [鎌ヶ池地区他]

かまがんじ

きそがわ

(木曾川水系)

平成31年度当初：48.8億円

(岐阜県分：11.8億円、愛知県分：5.2億円、三重県分31.8億円)

1. 事業の必要性及び概要

木曾三川河口部は、我が国最大のゼロメートル地帯である濃尾平野を流れ、切迫する南海トラフ巨大地震により堤防が沈下すれば、津波等により広範囲かつ長期間にわたり浸水し、地域経済等に甚大な被害が発生する恐れがあることから、河川堤防の液状化対策を実施し、早期に河川堤防の耐震性能の向上を図ります。



2. 事業箇所

くわな
三重県桑名市

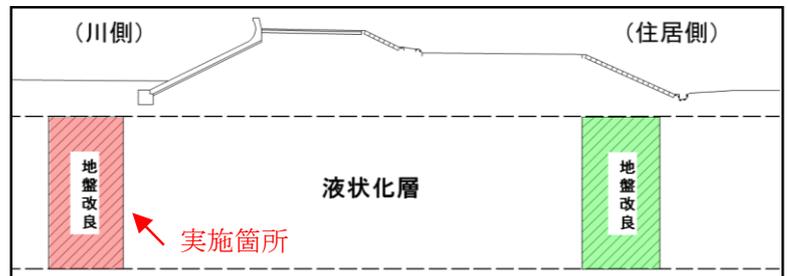
木曾川下流鎌ヶ池地区
河川改修事業

3. 平成31年度事業予定内容及び現在の実施状況

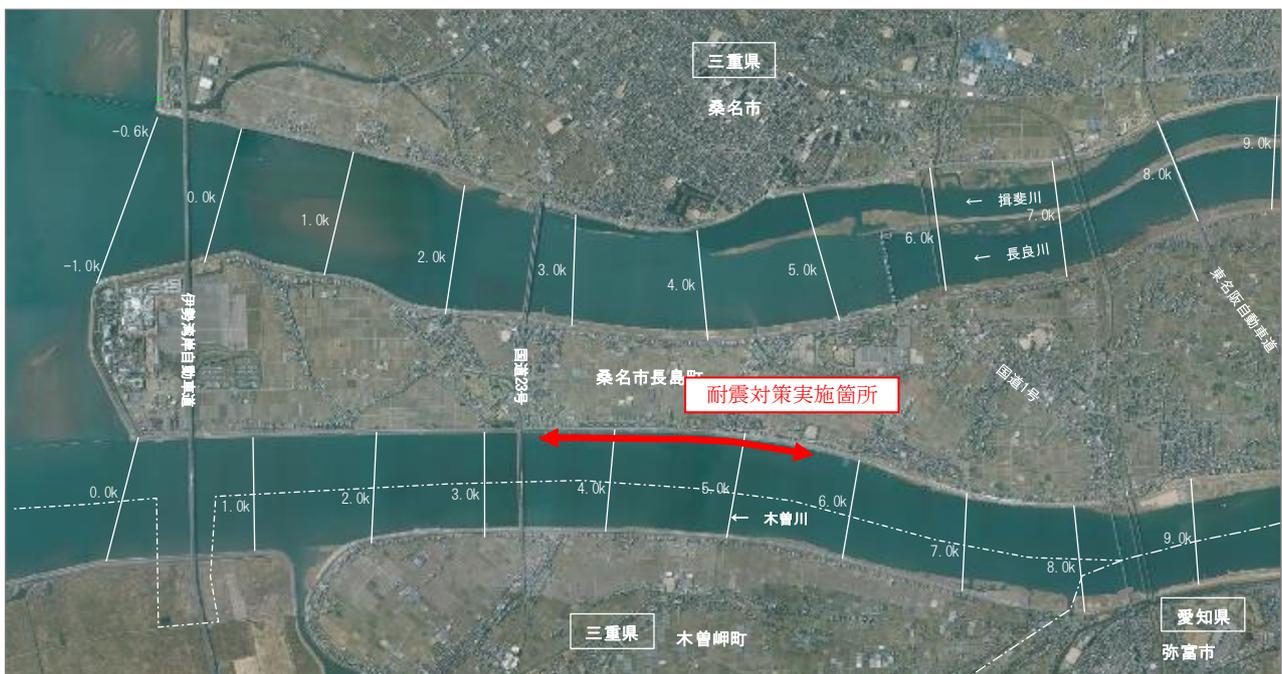
引き続き、河川堤防の耐震対策を推進（木曾川津波対策耐震事業）



対策実施状況



対策実施状況イメージ図



4. 整備効果

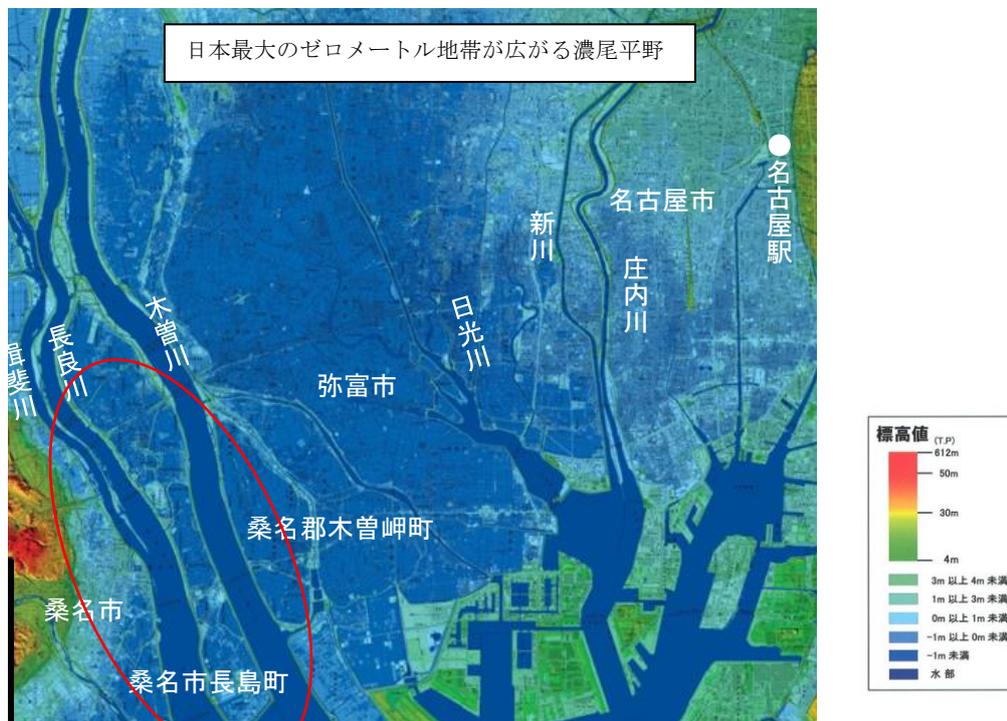
○重点：国民の安全・安心の確保・・・耐震性能の向上

地震による堤防沈下を抑制し、津波による浸水被害を軽減させる。

□木曾三川下流部の浸水想定区域(津波)と生産・観光拠点位置図



□木曾川と揖斐川に挟まれる桑名市長島町は、日本でも有数の一大観光エリアとして展開されており、現在では、年間約700万人の観客動員を実現。桑名市・木曾岬町は、「アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」の指定や純国産旅客機「MRJ」を組み立てする企業の生産拠点どが立地。



みやがわ 宮川河川改修事業	せ た が わ た じ り か わ さ き [勢田川・田尻河崎地区他]	みやがわ (宮川水系)
-------------------------	--	-----------------------

平成31年度当初：7.5億円

1. 事業の必要性及び概要

宮川水系勢田川が流れる伊勢市では、平成29年台風21号による豪雨により、内水被害が広範囲にわたり発生し、甚大な被害が発生しました。加えて勢田川では、計画高水位を超過し、伊勢市街地で溢水が発生しました。

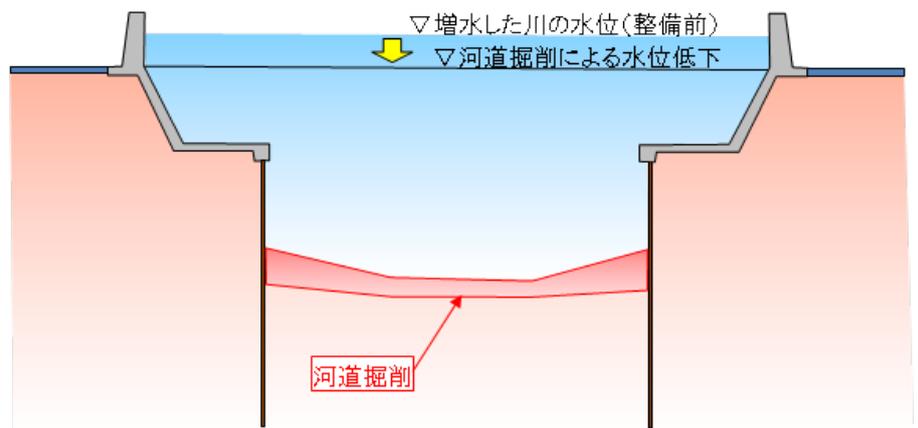
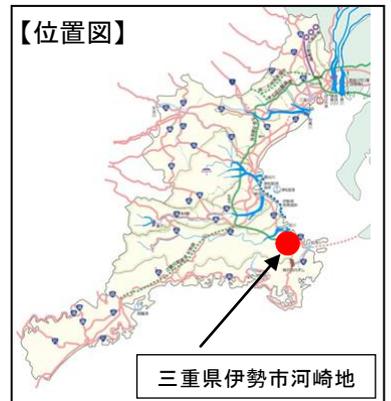
内水・溢水による複合的な浸水被害を軽減すべく、伊勢市、三重県、国土交通省が連携して平成30年6月に策定した、「勢田川流域等浸水対策実行計画」に基づき、ハード・ソフト対策を一体的に取り組み、早期に治水安全度の向上を図ります。このうち国土交通省では、勢田川の流下能力向上のため、河道掘削等を実施していきます。

2. 事業箇所

三重県伊勢市

3. 平成31年度事業予定内容及び現在の実施状況

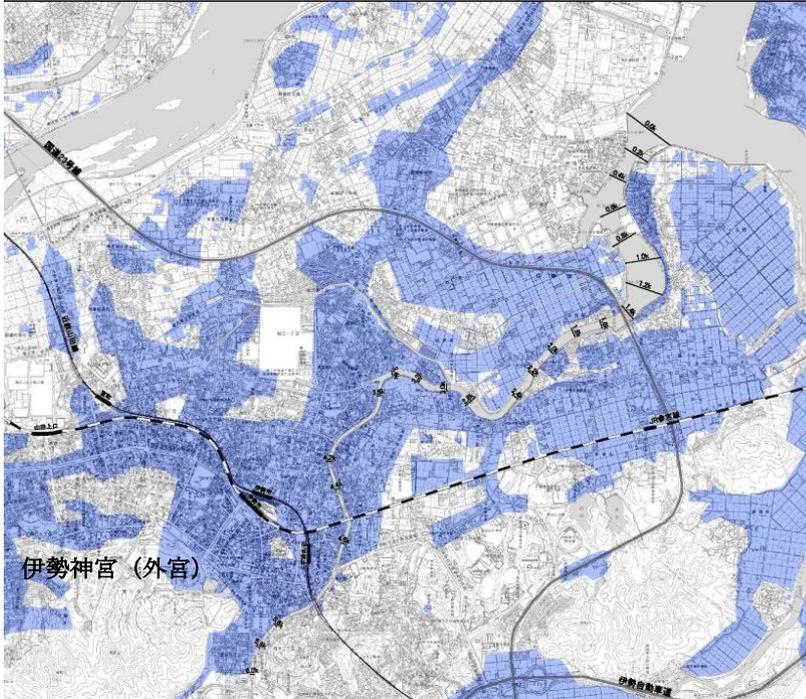
引き続き河道掘削を実施します。(勢田川流域浸水対策緊急事業)



4. 整備効果

○重点：国民の安全・安心の確保・・・「防災意識社会」への転換に向けた防災・減災対策の推進
河川整備によって、洪水による浸水被害を軽減させる。

□平成 29 年 10 月勢田川の浸水状況



伊勢神宮外宮参道



船江三丁目（八間道路）

浸水状況			
床上浸水	床下浸水	店舗、倉庫等の浸水	合計
409	670	773	1,852

□今回被害を受けた伊勢市は、伊勢神宮が鎮座され、神宮にまつわる歴史的遺産が存在する。また、勢田川沿川は、かつて川を利用した水運により、問屋街として繁栄し、まちづくりについて官民協働で古い町並み保存がされている地域である。

□歴史的遺産やかつての町並みを保存していくためにも、浸水被害を防止することにより、地域の安全・安心を向上させ、地域振興にも寄与する。



伊勢神宮(外宮)



勢田川沿いの古い町並み

勢田川

とうかいかんじょう
国道475号 東海環状自動車道
 くまのおわせ くまの きほうくまの
国道42号 熊野尾鷲道路(Ⅱ期)、熊野道路、紀宝熊野道路

平成31年度当初【東海環状自動車道】：316.1億円

〔三重県分：34.1億円〕

【熊野尾鷲道路(Ⅱ期)、熊野道路、紀宝熊野道路】：66.8億円

1. 事業の必要性及び概要

- 東海環状自動車道は、地域活性化・地域開発の支援を目的とした名古屋圏の環状道路を形成する延長約153kmの高規格幹線道路です。
- 国道42号熊野尾鷲道路(Ⅱ期)、熊野道路、紀宝熊野道路は、近畿自動車道紀勢線と一体となって、広域的防災に資する道路ネットワークの強化を目的に計画された一般国道の自動車専用道路です。



2. 事業箇所

■東海環状自動車道 とうかいかんじょう とよた よっかいち
 : 愛知県豊田市 ~ 三重県四日市市

■国道42号熊野尾鷲道路(Ⅱ期)、熊野道路、紀宝熊野道路
 : 三重県尾鷲市、熊野市、御浜町、紀宝町

3. 平成31年度事業予定内容及び現在の実施状況

■東海環状自動車道

【北勢~四日市(延長14.4km)】 【養老~北勢(延長18.0km うち三重県9.0km)】

- 北勢IC(仮称)~大安IC間(延長6.6km)の改良工事等を推進。《2024年度開通予定》
- 養老IC~北勢IC(仮称)間(延長18.0km)の改良工事、橋梁工事等を推進。(三重県)

■国道42号熊野尾鷲道路(Ⅱ期)、熊野道路、紀宝熊野道路

【尾鷲北IC~尾鷲南IC(延長5.4km)】 【熊野大泊IC~熊野IC(仮称)(延長6.7km)】

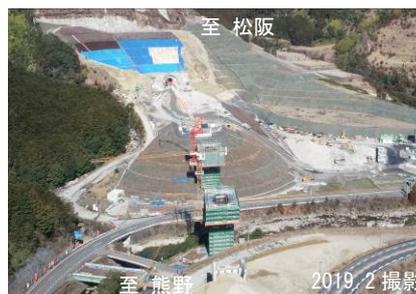
【熊野IC(仮称)~紀宝IC(仮称)(延長15.6km)】

- 尾鷲北IC~尾鷲南IC間(延長5.4km)の改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進。
- 熊野大泊IC~熊野IC(仮称)(延長6.7km)の用地買収等を推進。
- 熊野IC(仮称)~紀宝IC(仮称)(延長15.6km)の測量、設計及び関係機関協議を推進。

《2019年度新規事業化》



2024年度開通に向け工事が進む
 東海環状自動車道 青川付近



トンネル工事等の状況
 熊野尾鷲道路Ⅱ期 尾鷲南IC付近



海岸沿いを通過する国道42号
 紀宝熊野道路 2019年度新規事業化

4. 整備効果

○重点：国民の安全・安心の確保・・・救急医療施設へのアクセス向上

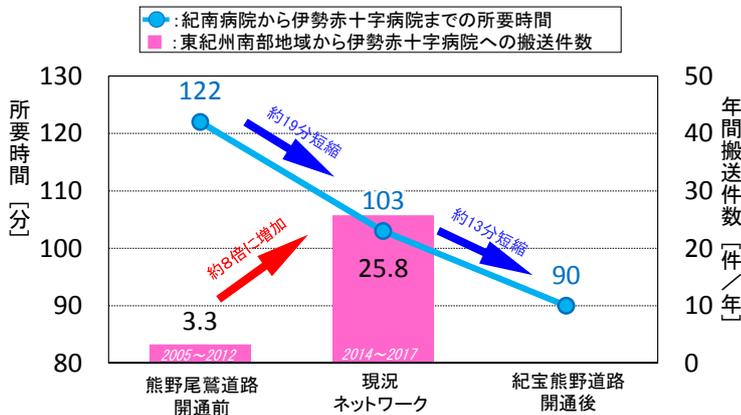
高速道路ネットワーク形成により、救急医療活動を支援！！

- 熊野尾鷲道路の開通後、東紀州南部地域から第三次救急医療施設（伊勢赤十字病院）への搬送件数が**約8倍に増加**
- 紀宝熊野道路等の整備による所要時間の短縮と安定した搬送の実現により、**高次医療施設への搬送等救急医療活動を支援**

■東紀州南部地域から伊勢赤十字病院までの経路



■第三次救急医療施設までの搬送状況の変化



地域の拠点病院である紀南病院（御浜町）

※熊野市消防本部提供資料及び
2015 全国道路・街路交通情勢調査混雑時旅行速度より
未開通の区間は設計速度 80km/h（一部 60km/h）にて算出

つまつさか
津松阪港海岸 直轄海岸保全施設整備事業

1. 事業の必要性及び概要

平成 31 年度当初：15.8 億円

津松阪港海岸は、整備後 50 年以上が経過し、老朽化が進行するとともに、天端高さが不足しており、再び高潮による甚大な浸水被害が懸念されています。また、耐震性が不足しており、地震発生時には液状化による沈下の恐れがあり、堤防の改良が必要になっています。

このため、津地区（栗真工区、栗真町屋工区、阿漕浦・御殿場工区）において、堤防の改良を行います。



2. 事業箇所

三重県津市

3. 平成 31 年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き堤防の老朽化対策及び耐震対策を実施します。



整備前の堤防(阿漕浦・御殿場工区)



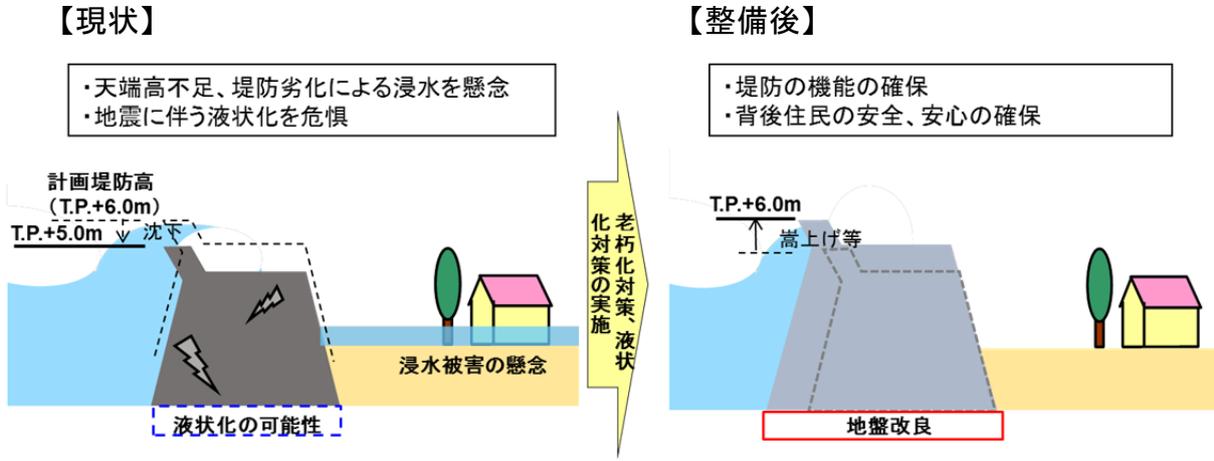
整備後の堤防(阿漕浦・御殿場工区)

4. 整備効果

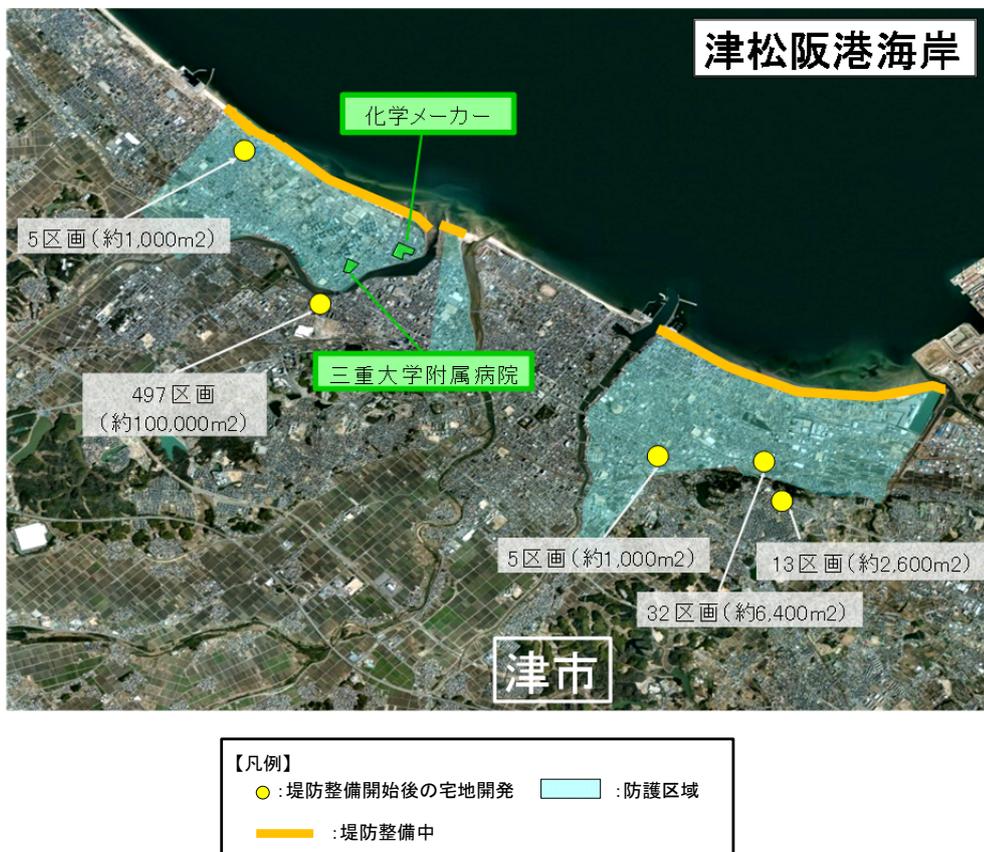
○重点：国民の安全・安心の確保・・・高潮被害の軽減

<浸水リスクの低減により、背後地域が活性化>

海岸堤防の計画天端高さを確保し、海岸堤防の機能を維持することで、高潮による背後地域への浸水を防護し、背後地域における住民の安全・安心を確保します。



海岸堤防の整備に合わせて、背後地域の宅地開発が進んでいます。加えて、背後地域に企業や病院への新たな設備が投資されるなど、周辺地域の活性化が進んでいます。



てんりゅうがわちゅうりゅう
天竜川中流地区直轄地すべり対策事業

平成31年度当初：2.5億円

1. 概要

天竜川中流地区には地すべりが多数存在しており、近年豪雨が増加傾向にあることや南海トラフ地震の発生確率が高くなっていることから、地すべり発生リスクが高まっています。

地すべりが発生した場合、地すべりによる直接被害や天然ダムの湛水・決壊により広域にわたり浸水・氾濫被害が発生し、基幹集落である平岡地区をはじめ、国・県道および鉄道等が被災する恐れがあるため、早期に地すべり対策工事を実施し、土砂災害の防止・軽減を図ります。



2. 事業箇所

ながのけんしもいなぐんあなんちよう てんりゅうむら
長野県下伊那郡阿南町、天龍村

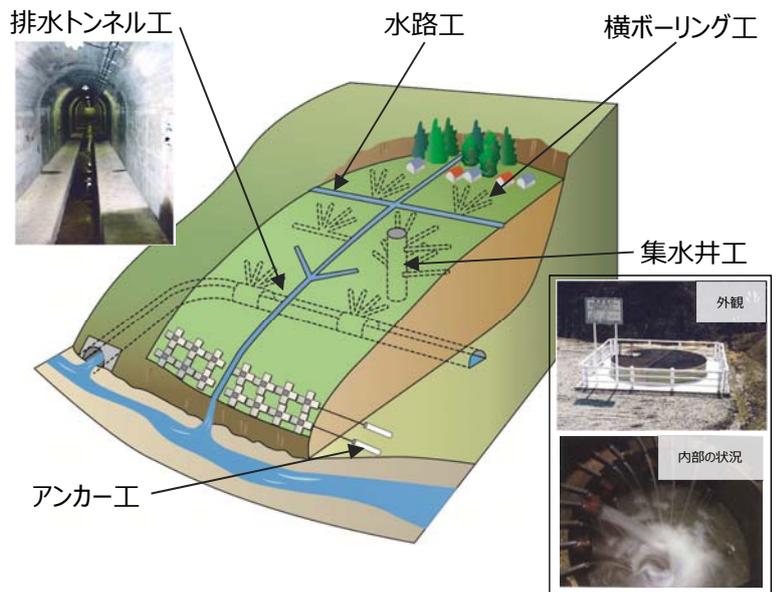
3. 平成31年度事業予定内容

- ・平成31年度より地すべり対策事業に新規着手し、工事用道路等を実施

■天竜川中流地区



■対策イメージ



■平岡地区全景



■開窪地区全景



凡例 ● 公共施設等 — 国道、県道 — JR線 ○ 地すべりブロック
地すべりブロック：地すべりとして一体となって動く恐れがある土砂や岩の塊の範囲

○重点：国民の安全・安心の確保・・・地すべり対策推進

地域の基幹的な集落である平岡地区を中心とした天竜川中流地区内の地すべり災害安全度が向上し、地すべりによる直接被害、天竜川の河道閉塞の湛水・決壊による土砂・洪水氾濫被害を防ぎます。

■災害発生時の影響



<p>天然ダムの決壊による被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開窪地区 地すべりが発生し、開窪地区が被災するとともに天然ダムが形成 ⇒決壊による氾濫により平岡地区が被災
<p>地すべりによる直接的な被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平岡地区 地すべりが発生 ⇒地すべりによる直接的な被害が平岡地区に発生
<p>天然ダム上流域の湛水による被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中井侍地区 地すべりが発生し、中井侍地区が被災するとともに天然ダムが形成 ⇒天然ダム上流域の湛水により平岡地区が浸水

■近年の土砂災害



■事業実施による効果

- 地すべり土塊の滑動に伴う、居住地・道路・鉄道・発電所等インフラの直接被害の防止
- 地すべりにより河道閉塞が発生した場合の、上流の湛水、下流の氾濫に伴う間接被害の防止
- 基幹集落機能（役場機能等）の保全（平岡地区）

【主な保全対象】

重要施設：天龍村役場、天龍村診療所、平岡発電所、深見浄化センター、早木戸発電所 等
 幹線：国道418号、県道1号、JR飯田線 等
 保全家屋：369戸
 事業所数：82箇所

さんえんなんしん
国道474号 三遠南信自動車道

平成31年度当初【三遠南信自動車道】：185.2億円

〔長野県分：75.0億円〕

1. 事業の必要性及び概要

- 三遠南信自動車道は、中央道、新東名と連絡し広域ネットワークを構築し、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を目的に計画された延長約100kmの高規格幹線道路です。



2. 事業箇所

■三遠南信自動車道：長野県飯田市～静岡県浜松市

3. 平成31年度事業予定内容及び現在の実施状況

■三遠南信自動車道

【飯喬道路（延長22.1km）】 【青崩峠道路（延長5.9kmのうち長野県3.3km）】

- 天龍峡IC～龍江IC間（延長4.0km）の改良工事、舗装工事等を推進。
 《2019年度開通予定》
- 飯田上久堅・喬木富田IC～喬木IC間（延長7.5km）の改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進。
- 小嵐IC(仮称)～水窪北IC(仮称)間（延長5.9km）の改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進。



至 龍江IC
 至 天龍峡IC
 2018.11 撮影



2018.12 撮影



2019.3 撮影

2019年度開通に向けた工事の状況
 飯喬道路 天龍峡大橋

トンネル調査坑工事の状況
 青崩峠道路

トンネル本坑着工式
 青崩峠道路

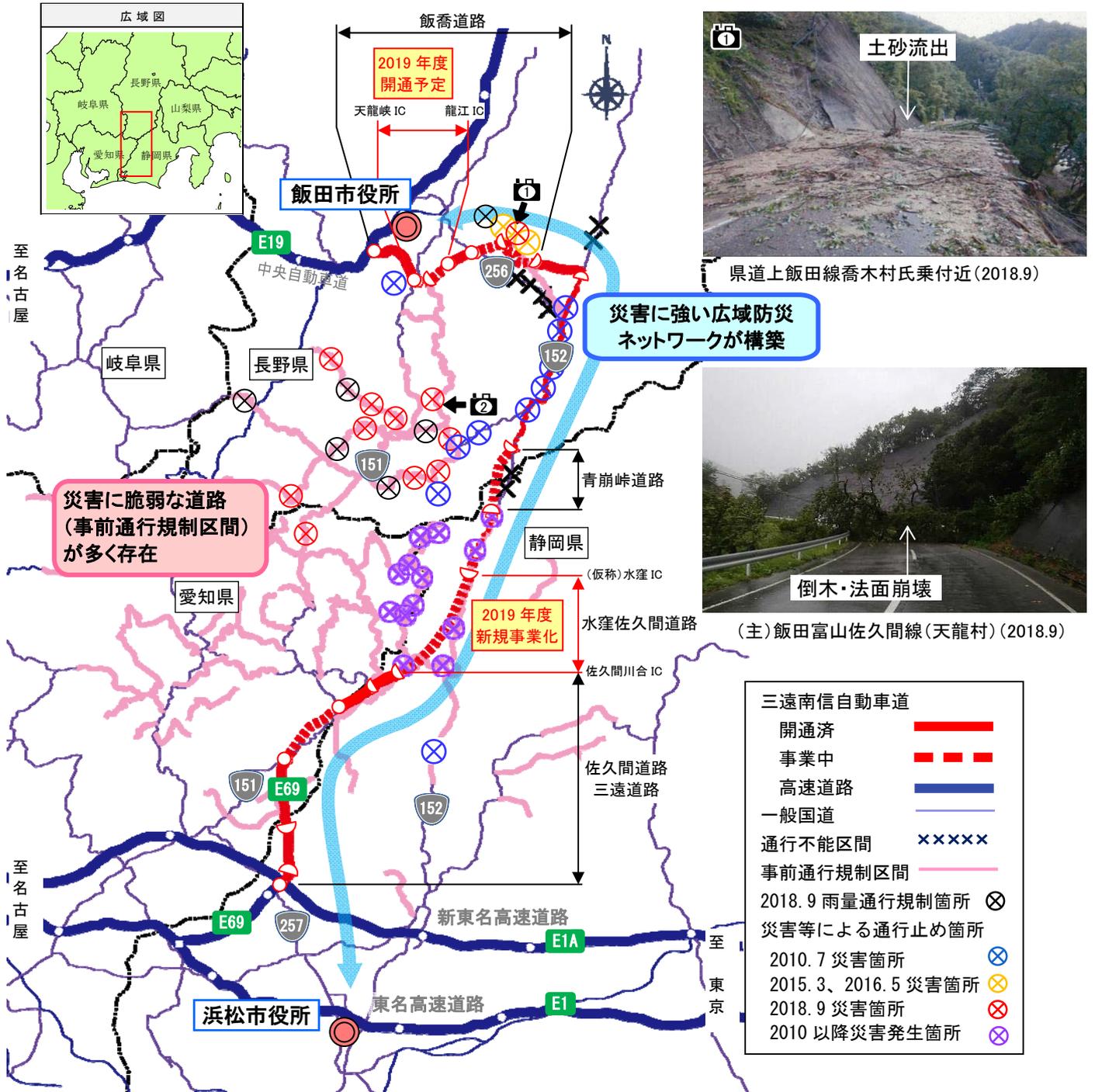
4. 整備効果

○重点：国民の安全・安心の確保・・・広域防災ネットワークの構築

広域防災ネットワークを構築し、災害時も連絡可能な道路を整備！

- 県境付近は事前通行規制区間が多く、災害時に連絡できる道路が脆弱
- 三遠南信自動車道の整備により、地域間を結ぶ交通軸が形成され、災害に強い道路の整備により**広域防災ネットワークが構築**

■三遠南信地域の広域防災ネットワーク



<過去5年間の並行現道被災状況>

- 2015.3 県道上飯田線喬木村氏乗付近にて、法面崩壊により通行止め。
- 2016.5 県道上飯田線喬木村氏乗付近にて、土砂流出により通行止め。
- 2018.9 県道飯田富山佐久間線天龍村にて、倒木・法面崩壊による通行止め。
県道上飯田線喬木村氏乗付近にて、土砂流出により通行止め。

みずぼうさい
社会全体での水害被害軽減対策（水防災意識社会再構築ビジョン）

1. 施策の必要性及び概要

平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨では、広範囲な浸水、堤防近傍の家屋の倒壊、避難の遅れのため多数の孤立者が発生するなど多くの課題が明らかになりました。

堤防整備等のハード対策と併せ、「施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生する」との考えに立ち、社会全体で洪水に備えるための各種取り組みを、2020 年度を目途に進めています。

2. 取り組み事例

必ず発生する大洪水に備える！

要配慮者利用施設における避難訓練



こども園の避難訓練

逃げ遅れゼロへ

関係機関が連携した水防演習



木曽三川での水防演習

緊急時の連携・相互協力体制を強化

消防団と意見交換



自治体、消防団との意見交換

水防災意識を啓発！

小学校へ出前講座



国交省職員による授業を実施後、避難訓練を実施

防災の関心を向上

小学校等と共同で防災教育の教材を作成



作成した教材を活用し、教員がわかりやすく伝える

普段の授業で防災教育が可能に

市長へ防災教育冊子を寄贈



浜松市長への寄贈

防災知識を地域へ

首長・住民との合同点検



首長参加による合同点検

避難に資する判断材料の提供

住民に対する防災講演



定期的な防災セミナーの開催

住民の主体的避難を促進

防災シンポジウムを開催



防災のプロ(学識者)による講演会

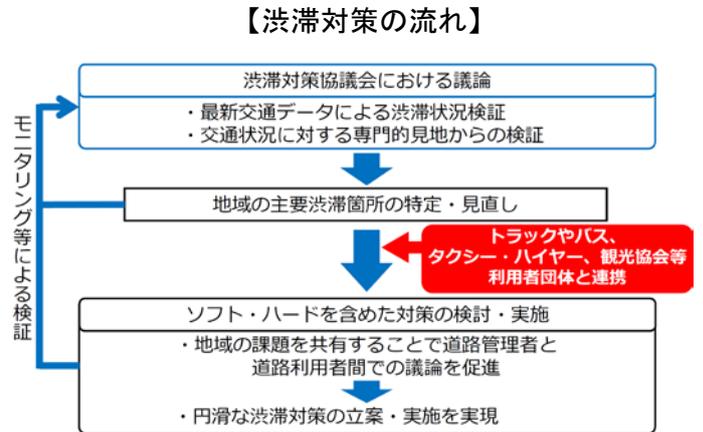
過去の経験を未来に継承

官民連携による渋滞対策の推進

1. 概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、速効性のある渋滞対策を実施します。



2. 主な事業箇所・事業内容

国道21号 楽田町交差点（岐阜県 大垣市）



《《 直進車線の増設を予定 》》

国道1号 鳥坂IC交差点（静岡県 静岡市）



《《 左折レーンの延伸を予定 》》

国道23号 丹後通交差点（愛知県 名古屋市）



《《 右折レーンの延伸を予定 》》

国道23号 小木交差点（三重県 伊勢市）



《《 側道交通との分離を予定 》》

平成31年度の道路調査の見通しについて

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

静岡県 いず伊豆縦貫自動車道 あまぎ ゆがしま天城湯ヶ島～河津 かわづ

概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

長野県 国道153号 いいたみなみ飯田南道路
静岡県・愛知県 はまつ みつかび とよはし浜松三ヶ日・豊橋道路(仮称)
愛知県 めいぎ名岐道路
静岡県 はまつ国道1号 浜松バイパス

直轄による権限代行実施の検討を行うための調査

長野県 国道153号 いこま伊駒アルプスロード
愛知県 にしちた西知多道路

ちゅうぶじゆうかん中部縦貫自動車道 ひらゆ平湯～にゅうかわ丹生川については、広域的な幹線道路ネットワークを効果的に発現する区間の検討を実施します。

名古屋港をはじめとした効率的な物流交通確保に向け、いちのみや にしこう一宮西港道路を含む名古屋都市圏環状機能強化の検討を実施します。

国道23号(じゅういちや十一屋・ほうじん宝神交差点間)については、交通状況を踏まえ、名古屋市と連携し、整備方針を検討するための調査を実施します。

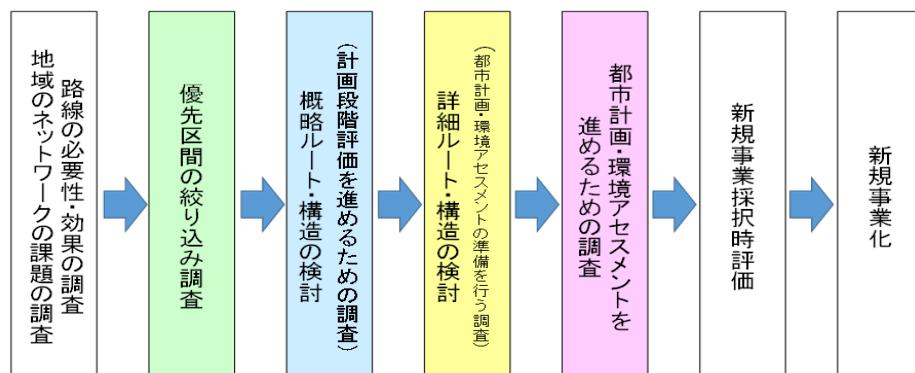
国道25号名阪国道の必要な事故対策等も含めた、奈良・三重間のネットワークの在り方について、調査検討を実施します。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、中京圏周辺のボトルネック箇所への集中的対策に向けた調査を推進します。

さらに、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>



5. 県別の整備箇所事例一覧

○岐阜県内の整備箇所事例 P. 51

○静岡県内の整備箇所事例 P. 52

○愛知県内の整備箇所事例 P. 53

○三重県内の整備箇所事例 P. 54

○長野県・山梨県・奈良県内の整備箇所事例 . P. 55

5. 県別の主な整備箇所一覧

【岐阜県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	H31当初配分額	
河川関係	庄内川河川改修事業(多治見市 青木地区 庄内川青木堤防嵩上事業)	国	3.5億円	青木地区 2019完成予定
	木曽川下流河川改修事業(海津市 本阿弥新田地区 揖斐川海津堤防整備事業 他)	国	11.8億円	田鶴地区 2020完成予定
	木曽川上流河川改修事業(海津市 幡長地区 長良川海津河道掘削事業 他)	国	49.9億円	幡長地区 2019完成予定
	木曽川総合水系環境整備事業(可児市 可児地区 水辺整備 他)	国	2.1億円	
	庄内川総合水系環境整備事業(多治見市、土岐市 庄内川上流部地区 自然再生)	国	0.05億円	
	新丸山ダム建設事業	国	88.3億円	
	木曽川水系直轄砂防事業(中津川市 川上流路工改築 他)	国	11.9億円	
	庄内川水系直轄砂防事業(多治見市 平園第6砂防堰堤 他)	国	6.5億円	
	越美山系直轄砂防事業(揖斐川町 高知谷第1砂防堰堤 他)	国	21.2億円	
道路関係	国道158号 中部縦貫自動車道	国	41.6億円	
	国道475号 東海環状自動車道	国	282.0億円	2019/2024 ※ 一部開通予定
	国道41号 高山下呂連絡道路 石浦バイパス	国	27.4億円	2020 一部開通予定
	国道19号 瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)・(恵那工区)	国	13.5億円	
	国道21号 岐大バイパス	国	3.0億円	
	国道41号 上麻生防災	国	2.0億円	
	国道41号 屏風岩改良	国	0.40億円	
	国道41号 門原防災	国	2.2億円	
	国道41号 船津割石防災	国	2.4億円	
	国道156号 岐阜東バイパス	国	8.7億円	
	国道156号 大和改良	国	5.5億円	2020 開通予定
	国道156号 郡上大橋架替	国	0.50億円	2019 新規事業化
	国道19号 岐阜19号 交差点改良等(原西交差点改良)	国	0.09億円	2019 新規事業化
	国道41号 岐阜41号 交差点改良等(梨ヶ根登坂)	国	3.1億円	
	国道41号 岐阜41号 交差点改良等(総合庁舎口歩道拡幅)	国	0.12億円	2019 新規事業化
	国道156号 岐阜156号 交差点改良等(為真歩道整備)	国	3.2億円	
国道156号 岐阜156号 交差点改良等(日野南1交差点改良)	国	0.06億円	2019 新規事業化	
国道258号 大垣電線共同溝	国	1.5億円		
公園関係	国営木曽三川公園 (国営公園整備事業) 〔アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道、桜堤サブセンター 等〕	国	5.0億円	
官庁 宮籍 関係	高山地方合同庁舎(庁舎整備)	国	8.0億円	2020完成予定

【静岡県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	H31当初配分額	
河川関係	狩野川河川改修事業(沼津市 下河原地区 狩野川下河原堤防拡幅事業 他)	国	14.9億円	下河原地区、大平地区 2019完成予定
	安倍川河川改修事業(静岡市 俵沢地区 安倍川俵沢堤防強化事業 他)	国	9.7億円	
	大井川河川改修事業(島田市 中島・川尻地区 大井川中島川尻・河川防災ステーション整備事業 他)	国	8.8億円	
	菊川河川改修事業(菊川市 奈良野地区 菊川下内田河川防災ステーション整備事業 他)	国	9.5億円	下内田河川防災ステーション 2020完成予定
	天竜川下流河川改修事業(浜松市 谷川地区 天竜川谷山無堤部対策事業 他)	国	6.8億円	
	狩野川総合水系環境整備事業(清水町 柿田地区 自然再生 他)	国	0.5億円	
	大井川総合水系環境整備事業(島田市 宝来地区 水辺整備)	国	0.7億円	
	天竜川ダム再編事業	国	4.9億円	
	狩野川水系直轄砂防事業(伊豆市 市山地区 砂防堰堤工群 他)	国	9.6億円	
	富士山直轄砂防事業(富士宮市 大沢川遊砂地 他)	国	37.8億円	
	安倍川水系直轄砂防事業(静岡市 大谷山腹工 他)	国	8.9億円	
	由比地区直轄地すべり対策事業	国	20.8億円	
道路関係	国道1号・414号 伊豆縦貫自動車道	国	68.7億円	
	国道474号 三遠南信自動車道(青崩峠道路・佐久間道路・三遠道路)	国	21.8億円	
	国道474号 三遠南信自動車道 水窪佐久間道路	国	1.0億円	2019 新規事業化
	国道1号 静岡東西道路 静岡バイパス	国	45.0億円	
	国道1号 笹原山中バイパス	国	33.1億円	2019開通予定
	国道1号 東駿河湾環状道路(沼津岡宮～愛鷹)	国	3.5億円	
	国道1号 富士由比バイパス	国	0.55億円	
	国道1号 藤枝バイパス	国	5.4億円	
	国道1号 島田金谷バイパス	国	18.0億円	
	国道138号 須走道路	国	29.6億円	
	国道138号 御殿場バイパス(西区間)	国	61.9億円	
	国道139号 富士改良	国	3.8億円	
	国道1号 静岡1号 交差点改良等(葵西自転車走行空間整備)	国	2.3億円	
	国道1号 静岡1号 交差点改良等(浜松東部地区事故対策)	国	2.4億円	
	国道1号 静岡1号 交差点改良等(昭府2丁目交差点改良)	国	0.42億円	2019 新規事業化
	国道1号 静岡1号 交差点改良等(西郷IC改良)	国	0.51億円	2019 新規事業化
	国道1号 静岡1号 交差点改良等(東椎路中交差点改良)	国	0.30億円	2019 新規事業化
	国道246号 静岡246号 交差点改良等(小山上野地区視距改良)	国	5.3億円	
	国道1号 国吉田電線共同溝	国	3.6億円	
	国道1号 栄町地区電線共同溝	国	0.30億円	2019 新規事業化
国道1号 福塚電線共同溝	国	4.5億円		
国道138号 須走電線共同溝	国	2.7億円		
港湾関係	清水港外港地区防波堤改良事業	国	4.5億円	
	清水港日の出地区岸壁改良事業	国	12.7億円	
	御前崎港女岩地区防波堤改良事業	国	4.6億円	
	田子の浦港航路泊地整備事業	国	1.7億円	
海岸関係	下田港防波堤整備事業	国	5.6億円	
	富士海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	16.2億円	
官庁 宮籍 関係	駿河海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	15.9億円	
	清水地方合同庁舎(外壁改修)	国	0.8億円	

【愛知県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	H31当初配分額	
河川関係	豊川河川改修事業(豊橋市 暮川地区 豊川暮川霞浸水被害対策事業 他)	国	7.0億円	
	矢作川河川改修事業(西尾市 志貴野地区 矢作古川分派施設関連整備事業 他)	国	15.6億円	志貴野地区 2019完成予定
	庄内川河川改修事業(名古屋市長久保地区 庄内川宝神堤防耐震緊急事業 他)	国	30.1億円	打出地区、山田地区 2020完成予定
	木曽川下流河川改修事業(弥富市 前ヶ須地区 木曽川鍋田上水門改築事業)	国	5.2億円	前ヶ須地区 2020完成予定
	木曽川上流河川改修事業(稲沢市 拾町野地区 木曽川祖父江堤防強化事業 他)	国	5.2億円	拾町野地区 2019完成予定
	豊川総合水系環境整備事業(豊橋市、豊川市 豊川下流部地区 自然再生)	国	0.4億円	
	矢作川総合水系環境整備事業(豊田市 白浜地区 水辺整備 他)	国	2.2億円	
	木曽川総合水系環境整備事業(愛西市 愛西地区 水辺整備 他)	国	2.3億円	愛西地区 2019新規箇所
	矢作ダム再生事業	国	1.9億円	
設楽ダム建設事業	国	156.5億円		
道路関係	近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線(名古屋西～飛鳥)	国	0.75億円	2020 全線開通予定
	国道474号 三遠南信自動車道(佐久間道路・三遠道路)	国	87.3億円	
	国道23号 豊橋浜松道路・名豊道路 豊橋バイパス	国	5.5億円	
	国道23号 名豊道路 蒲郡バイパス	国	56.1億円	
	国道247号 西知多道路 西知多道路(東海ジャンクション)	国	17.0億円	
	国道1号 震災橋架替(熱田伝馬橋架替)	国	3.7億円	
	国道41号 名濃バイパス	国	20.0億円	
	国道153号 豊田北バイパス	国	15.5億円	2019 一部開通予定
	国道153号 伊勢神改良	国	5.3億円	
	国道155号 豊田南バイパス	国	23.7億円	
	国道302号 名古屋環状2号線	国	35.1億円	
	国道1号 愛知1号 交差点改良等(弥富高架橋南交差点改良)	国	0.33億円	2019 新規事業化
	国道19号 愛知19号 交差点改良等(丸の内二丁目地区事故対策)	国	0.48億円	2019 新規事業化
	国道22号 愛知22号 交差点改良等(古城交差点改良)	国	0.36億円	2019 新規事業化
	国道41号 愛知41号 交差点改良等(黒川交差点改良)	国	0.09億円	2019 新規事業化
	国道155号 愛知155号 交差点改良等(山口地区歩道整備)	国	2.1億円	
	国道302号 愛知302号 交差点改良等(平針地区交差点改良)	国	0.12億円	2019 新規事業化
	国道1号 岡崎朝日町電線共同溝	国	1.0億円	
	国道22号 一宮三ツ井電線共同溝	国	1.5億円	
	国道22号 一宮浅野電線共同溝	国	0.20億円	2019 新規事業化
国道41号 小牧電線共同溝	国	4.5億円		
国道302号 鳴海Ⅲ共同溝	国	5.6億円		
国道302号 緑地共同溝	国	5.3億円		
港湾関係	名古屋港ふ頭再編改良事業	国	10.4億円	
	名古屋港飛鳥ふ頭地区ふ頭再編改良事業	国	62.7億円	
	三河港神野地区岸壁改良事業	国	2.0億円	
	衣浦港中央ふ頭西地区岸壁改良事業	国	2.4億円	
公園関係	国営木曽三川公園(国営公園整備事業)	国	1.8億円	
	〔フラワーパーク江南 等〕			
官庁 営繕 関係	名古屋第二国税総合庁舎(空調設備改修)	国	2.5億円	
	名古屋国税総合庁舎(外壁改修、給排水設備改修)	国	1.3億円	

【三重県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	H31当初配分額	
河川関係	木曽川下流河川改修事業(桑名市 鎌ヶ池地区 木曽川津波対策耐震事業 他)	国	31.8億円	
	鈴鹿川河川改修事業(四日市市 派川左岸高潮地区 鈴鹿川派川高潮堤防整備事業 他)	国	10.7億円	派川左岸高潮地区 2019完成予定
	雲出川河川改修事業(津市 高峯・川原地区 雲出古川高峯・川原堤防拡幅事業 他)	国	12.6億円	
	榎田川河川改修事業(松阪市 西黒部地区 榎田川太平橋周辺河道掘削事業 他)	国	5.7億円	
	宮川河川改修事業(伊勢市 田尻・河崎地区 勢田川流域浸水対策緊急事業 他)	国	7.5億円	
	木曽川総合水系環境整備事業(桑名市 木曽・揖斐川河口部地区 自然再生)	国	0.3億円	
	榎田川総合水系環境整備事業(松阪市 東黒部地区 自然再生)	国	0.2億円	
宮川総合水系環境整備事業(玉城町 昼田地区 自然再生)	国	0.01億円		
道路関係	国道42号 熊野尾鷲道路(Ⅱ期)	国	51.8億円	
	国道42号 熊野道路	国	14.0億円	
	国道42号 紀宝熊野道路	国	1.0億円	2019 新規事業化
	国道475号 東海環状自動車道	国	34.1億円	2024 ※ 一部開通予定
	国道1号 桑名東部拡幅	国	10.6億円	
	国道1号 北勢バイパス	国	25.0億円	
	国道23号 中勢道路	国	53.0億円	
	国道42号 松阪多気バイパス	国	6.8億円	
	国道23号 三重23号 交差点改良等(中勢津地区事故対策事業)	国	2.9億円	
	国道23号 三重23号 交差点改良等(当新田交差点改良)	国	0.15億円	2019 新規事業化
	国道23号 三重23号 交差点改良等(長屋2交差点改良)	国	0.15億円	2019 新規事業化
	国道25号 三重25号 交差点改良等(板屋IC改良)	国	2.7億円	
	国道42号 三重42号 交差点改良等(御浜紀宝地区自転車通行空間整備)	国	2.0億円	
	国道42号 三重42号 交差点改良等(三浦地区事故対策)	国	0.60億円	2019 新規事業化
	国道1号 富士電線共同溝	国	1.4億円	
国道1号 四日市日永電線共同溝	国	2.7億円		
国道23号 伊勢北電線共同溝	国	2.2億円		
国道23号 白子電線共同溝	国	2.1億円		
港湾関係	四日市港霞ヶ浦南ふ頭地区岸壁改良事業	国	4.7億円	
海岸関係	津松阪港海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	15.8億円	
公園関係	国営木曽三川公園(国営公園整備事業) 〔桑名七里の渡し公園 等〕	国	1.0億円	
官庁 営繕 関係	伊賀上野地方合同庁舎(長寿命化、屋根改修、建具改修、受変電設備改修、給排水設備改修)	国	1.0億円	

※ 財投活用による整備加速予定箇所(用地取得等が順調な場合)

【長野県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	H31当初配分額	
河川関係	天竜川上流河川改修事業(飯田市 鷲流峡地区 天竜川鷲流峡開削事業 他)	国	16.5億円	鷲流峡地区 2020完成予定
	天竜川総合水系環境整備事業(飯田市、駒ヶ根市、高森町、喬木村、豊丘村 天竜川地区 自然再生)	国	0.1億円	
	三峰川総合開発事業	国	12.8億円	
	天竜川水系直轄砂防事業(伊那市 中田切川砂防堰堤改築 他)	国	56.4億円	
	木曾川水系直轄砂防事業(大桑村 越百川第3砂防堰堤 他)	国	20.0億円	
	天竜川中流地区直轄地すべり対策事業	国	2.5億円	2019 新規事業化
道路関係	国道474号 三遠南信自動車道(飯喬道路・青崩峠道路)	国	75.0億円	2019 一部開通予定
	国道19号 数原改良	国	1.5億円	
	国道19号 桜沢改良	国	34.8億円	
	国道19号 長野19号 交差点改良等(野尻地区交差点改良)	国	0.12億円	2019 新規事業化

【山梨県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	H31当初配分額	
河川関係	富士山直轄砂防事業(富士吉田市、鳴沢村 北麓遊砂地工群 他)	国	4.3億円	

【奈良県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	H31当初配分額	
道路関係	国道25号 名阪道路	国	2.5億円	

- 注1) 記載事業は、国庫債務負担行為(ゼロ国債)を除く。
 注2) 県をまたぐ事業については当該県分のH31当初配分額が記載されています。
 注3) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。